

令和 3 年度伝統文化継承事業

ぐんまの伝統芸能アンケート 調 査 結 果 報 告 書

令和 4 年 3 月

公益財団法人群馬県教育文化事業団

— 目 次 —

1 概要	1
2 調査結果	
1. 新型コロナウイルスの影響について	1
2. コロナ禍の影響について	2
3. コロナ禍で活動の休止・縮小を決めた理由について	3
4. 今後の活動の見通しについて	4
5. 記録保存の取り組みについて	5
6. 映像記録や動画作成の希望について	5
7. YouTube 配信について	5
8. 修理・修復の依頼先について	6
9. 依頼した修理や修復内容について	6
10. 修理や修復の課題について	7
11. 活動状況の記録や道具の写真について	11
12. 市町村との情報共有について	11
13. 地域以外からの応援・協力について	11
14. 地域以外からの応援・協力を希望する内容や条件について	12
15. 地域以外からの応援・協力を希望しない理由について	15
16. 群馬県支援事業補助金「群馬のふるさと伝統文化」について	17
17. 興味関心を持ってもらうため、実施したいことについて	17
18. 興味関心を持ってもらうための工夫について	19
19. 情報発信の充実について	21
20. 今、必要とする支援について	21
21. 後継者の育成について	25
22. 後継者育成や確保の取り組みについて	25
23. 継承活動の課題や要望について	33
3 調査協力団体	
1. 人形芝居	42
2. 歌舞伎	42
3. 獅子舞	42
4. 神楽	46
5. 祭り囃子	49

ぐんまの伝統芸能アンケート調査結果

1 概要

調査目的

新型コロナウイルスによる県内伝統芸能団体の活動への影響等についてアンケート調査を行い、将来につながる取り組みや支援策の基礎資料とする。

調査機関

公益財団法人群馬県教育文化事業団

調査期間

令和4年1月21日（金）～3月10日（木）

調査方法

紙面調査

- ・郵送によるアンケート配布
- ・郵送またはメールによる回答

調査対象

県内の伝統芸能団体 409 団体
（人形芝居、歌舞伎、獅子舞、神楽、山車
または屋台がともなう祭り囃子）

有効回答数

213 件（有効回収率 52%）

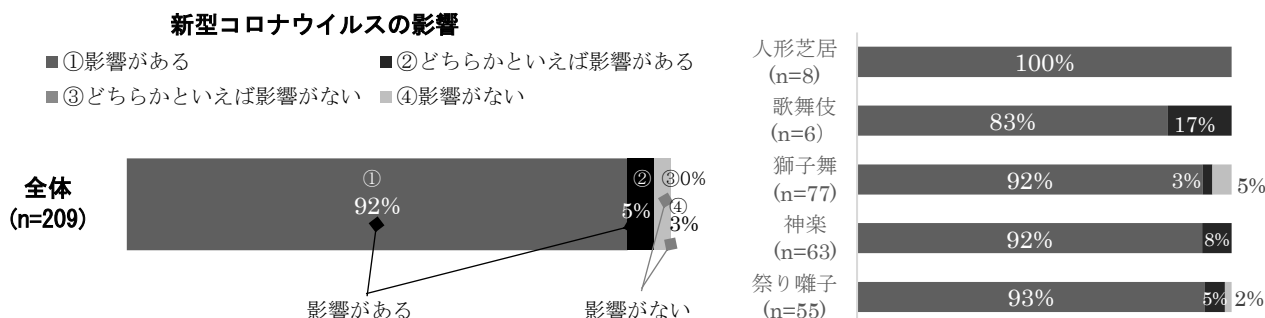
	送付数	回答数	回答率	構成比
人形芝居	8 件	8 件	100%	4%
歌舞伎	7 件	6 件	86%	3%
獅子舞	175 件	80 件	46%	37%
神楽	122 件	64 件	52%	30%
祭り囃子	97 件	55 件	57%	26%
合 計	409 件	213 件	52%	100%

2 調査結果

1. 新型コロナウイルスの影響について【調査項目 Q1】

県内の伝統芸能団体に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、団体の活動に影響があるか尋ねたところ、全体では「影響がある」が92%、「どちらかといえば影響がある」が5%である。「影響がない」の3%のうち、影響を受けず順調に活動を行う団体もいるが、多くは活動を休止・中断しているために感染症の影響がないと回答している。

伝統芸能別では、「影響がある」は人形芝居100%、歌舞伎83%、獅子舞・神楽92%、祭り囃子93%である。「影響がない」と回答した獅子舞と祭り囃子の各団体は、後継者不足等から休止・中断の状況にある。一方で、伝統を継承するために感染症対策に留意しながら、コロナ禍でも定期的に練習を行い、奉納を続ける獅子舞もある。



2. コロナ禍の影響について(複数回答)【調査項目 Q1-②】

■獅子舞

- ・三密を防ぐため練習が出来ない。
- ・大人も子どもも気持ちが離れていく。
- ・地域におけるコミュニティの意識が減少。
- ・テレビゲームの影響、地域への愛着の低下。
- ・後継者がいない、高齢で活動意欲がない。
- ・大人の練習も十分ではないが、子どもの練習が出来なくなってしまった。

■祭り囃子

- ・中学生や高校生の退会。
- ・後継者がいない、高齢で活動の意欲がない。
- ・祭りの中止による練習中止により、小学上級生に教える事が出来ず、年代間に空白が出来てしまい、今後の後継者育成に支障がでてくる様な気がする。

新型コロナウイルス感染症の蔓延による団体活動の具体的な影響について尋ねたところ、全体では、「祭り行事の縮小、延期・中止」が95%と最も多い。次いで、「集まりや練習機会の減少・中止」75%、「後継者の育成困難」36%、「公演の縮小、延期・中止」33%、「次につなげる意欲の低下」25%、「伝えられた所作や知識の衰え」24%である。

その他の意見は、次のとおりである。

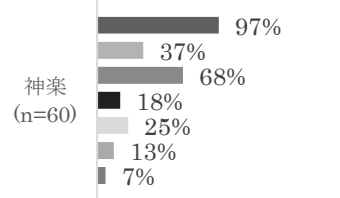
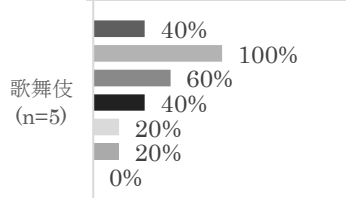
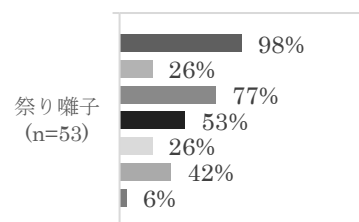
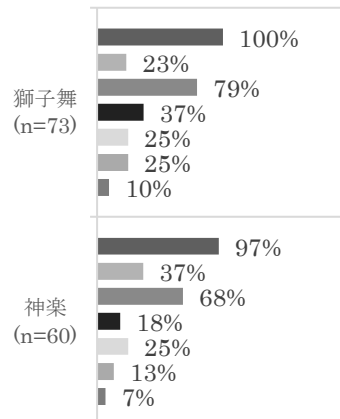
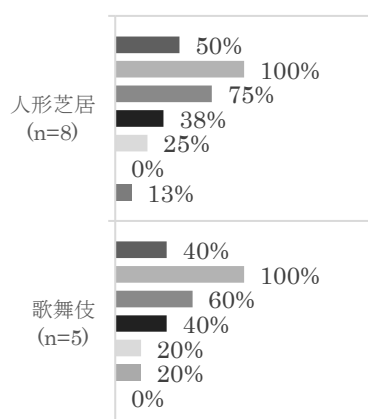
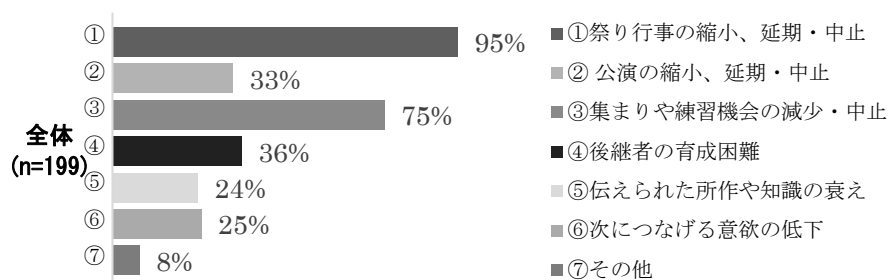
■人形芝居

- ・会員が感染リスクの高い高齢者であることから全ての公演、練習は中止している。

■神楽

- ・市民文化祭は郷土芸能部会のみ中止。
- ・地区文化祭、温泉まつりは中止。

コロナ禍の影響



3. コロナ禍で活動の休止・縮小を決めた理由について(複数回答) 【調査項目 01-③】

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、活動の休止や縮小などを決めた理由について尋ねたところ、全体では「十分な感染予防対策が難しい」76%、「活動自体の感染リスクが高く不安」75%、「会員が高齢で感染リスクが高く不安」45%、「行政等からの活動自粛の指示・要請」40%、「周囲からの反対」32%である。

その他の意見は、次のとおりである。

■人形芝居

- ・会員が感染リスクの高い高齢者であることと、公演の依頼自体も殆ど無くなったため。

■獅子舞

- ・小中学校への感染が心配。
- ・小学校からの要請、会員からの自粛希望。
- ・神社春季例大祭の縮小。
- ・県の警戒度が高いと「集合」をかけにくい。
- ・練習会場のスペース不足。コロナウイルス感染対策が難しい。
- ・自治会夏祭り、文化協会伝統芸能発表会中止。これらにより練習の機会も減少。

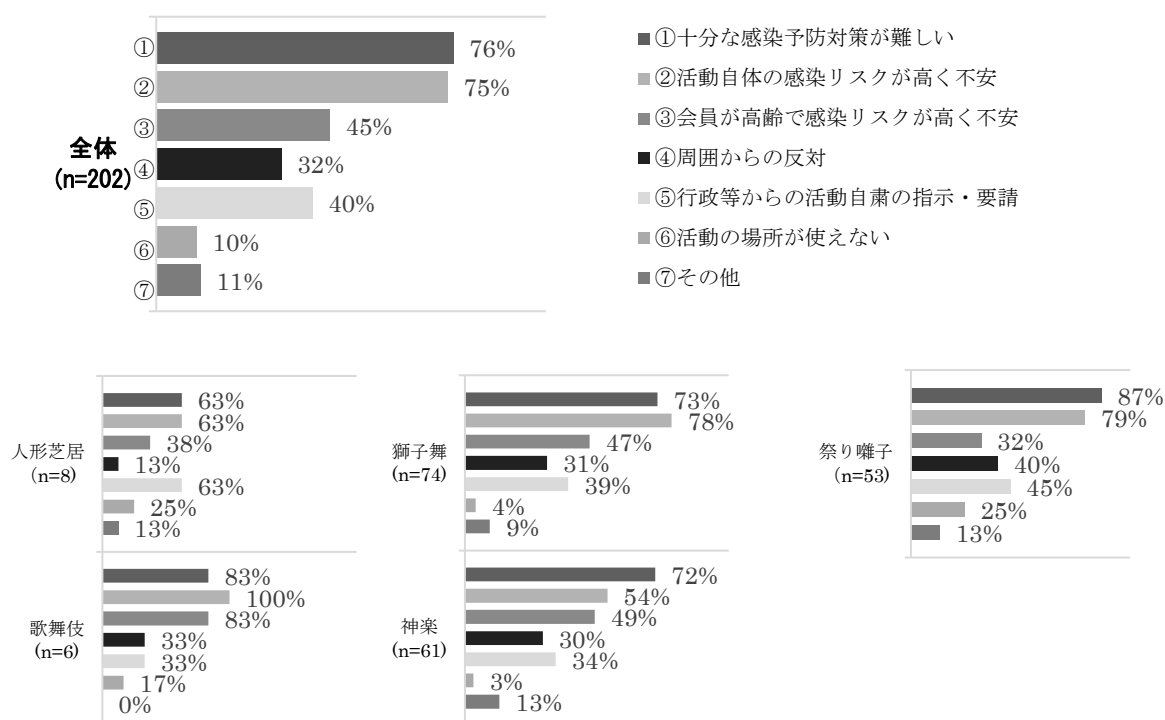
■神楽

- ・周囲の状況に合わせて中止。
- ・全て、神社総代会の指示に従う。
- ・神社の総代会長より中止の要請。
- ・子どもが主役であり、親の不安から子どもが出られない。
- ・当会からの中止は無い。すべて主催からの中止。

■祭り囃子

- ・子ども会からの活動自粛要請。
- ・保護者の理解。
- ・会員及び家族の不安。
- ・祭りは子ども中心の祭であるため、親から心配の声が多数あった。
- ・活動したことによって感染者を出し、重症者や死者が出てしまった場合に、風評被害などで二度と活動が出来なくなってしまう恐れがある。
- ・行事が他行政区と一緒にを行うため、会議での合意に基づく。

コロナ禍で活動の休止・縮小を決めた理由



4. 今後の活動の見通しについて【調査項目 Q2】

今後の活動の見通しについて尋ねたところ、全体では「今は活動を中断しているが、再開したい」49%、「時間を要するが、順調に活動が出来る」「現時点では活動しているが、今後はかなり厳しい」19%、「順調に活動が出来る」9%、「活動を中断しており、再開する可能性がない」4%である。

「活動を中断しており、再開する可能性がない」と回答された伝統芸能別の理由は、次のとおりである。

■獅子舞

- ・地区人口の減少。
- ・指導者（経験者）が地域に存在しない。

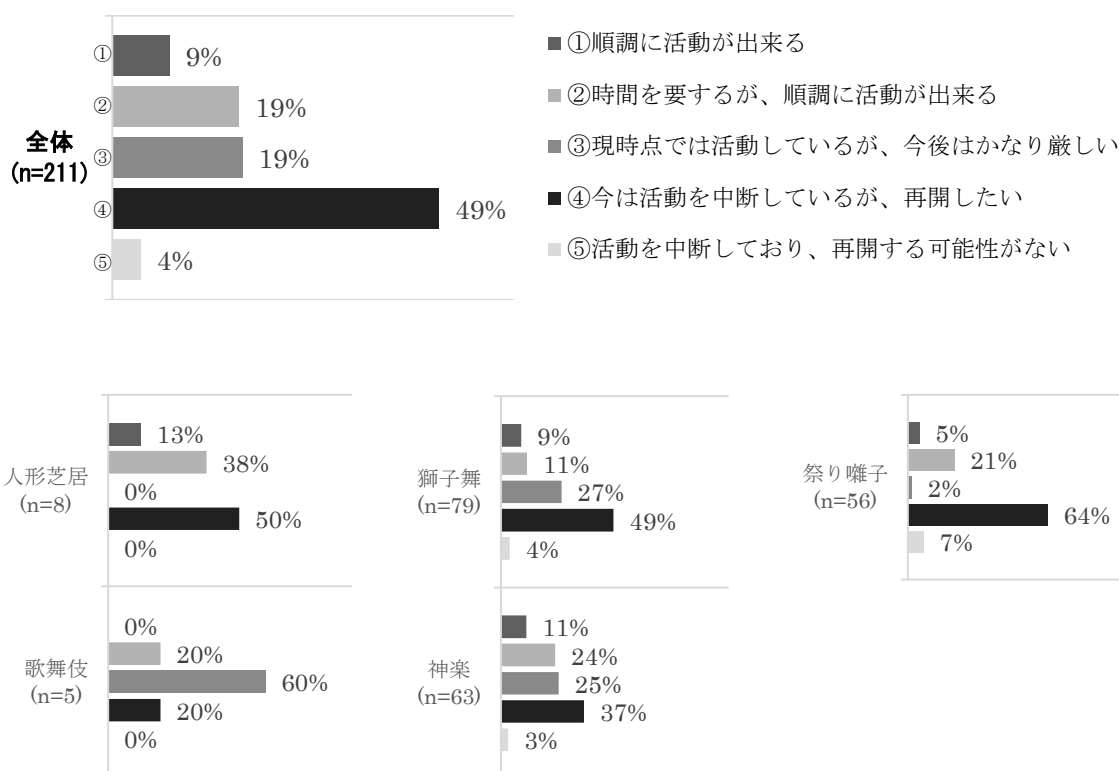
■神楽

- ・後継者がいない。
- ・会員が高齢となり、会員数になる。

■祭り囃子

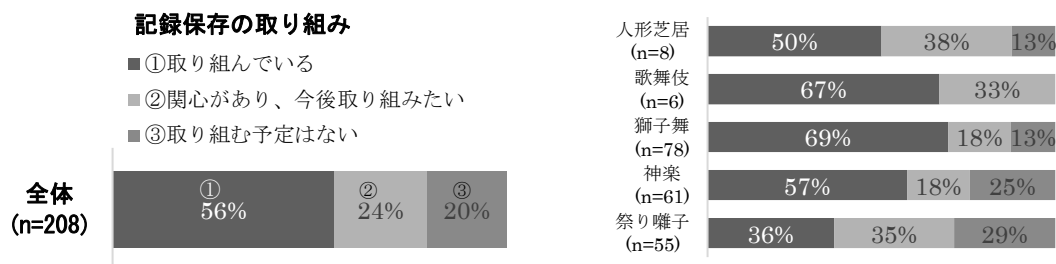
- ・少子化によりお囃子の要員不足、並びに育成会廃会により招集が困難。年寄集落なので駄目。
- ・戸数が少人。人がいないため、集落自体が終わりになる。

今後の見通し



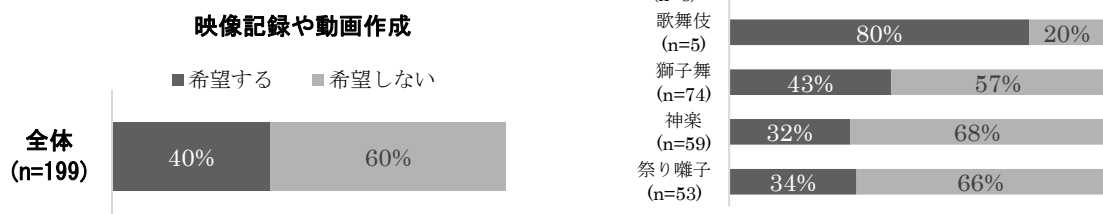
5. 記録保存の取り組みについて【調査項目 Q3】

DVDなどによる映像記録や動画作成など、今の技術を活かした記録保存の取り組みについて尋ねたところ、全体では「取り組んでいる」56%、「関心があり、今後取り組みたい」24%、「取り組む予定はない」20%である。



6. 映像記録や動画作成の希望について【調査項目 Q4】

記録保存のため、群馬県教育文化事業団による映像記録や動画作成の希望について尋ねたところ、全体では「希望しない」60%、「希望する」40%である。



7. YouTube 配信について【調査項目 Q4-②】

作成した動画の YouTube 配信について希望を尋ねたところ、全体では「希望しない」51%、「希望する」49%である。

◆当事業団では、県内の伝統芸能や文化芸術に興味関心を持ってもらうため、YouTube チャンネル「ぐんまアーツ」を開設し、動画を無料配信しています。

群馬県教育文化事業団

YouTube チャンネル「ぐんまアーツ」

[https://www.youtube.com/channel/](https://www.youtube.com/channel/UC7K_r7DXgdbG2oIP9C1feA)

UC7K_r7DXgdbG2oIP9C1feA

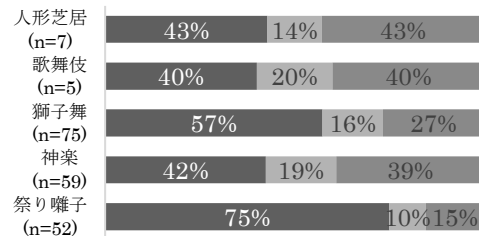


ぐんまアーツ



8. 修理・修復の依頼先について【調査項目 Q5】

演目に欠かせない大事な道具などが傷み、壊れた時に、その修理や修復を依頼出来るところがあるのか尋ねたところ、全体では「ある」が57%と最も多く、「わからない」28%、「ない」15%である。



9. 依頼した修理や修復内容について【調査項目 Q5-②】

依頼した修理・修復の内容や依頼先等を紹介する。

■人形芝居: 約 40 万円～120 万円

- ・人形衣裳の制作（故三榊京昇氏）
- ・人形の新調・修理・結髪
（現代人形劇センター/川崎）

■歌舞伎: 約 5 万円～20 万円

- ・舞台大道具（座員：大工棟梁）
- ・舞台小道具（高平建設/渋川市）

■獅子舞

○頭・面の修理（塗り替え）: 約 100 万～250 万円

- ・上州神輿製造業共同組合（榛東村）
- ・晃月人形（高崎市）
- ・清水増（高崎市）
- ・日光兼光彫刻師（高崎市）
- ・宮本卯之助商店（浅草）
- ・松田漆工房（東松山市）
- ・星商店（会津若松市）
- ・イノウエコーポレーション（京都）ほか

○太鼓の修理・新調: 約 30 万円～100 万円

- ・山口太鼓店（太田市）
- ・吾妻太鼓店（東吾妻町）
- ・上州神輿製造業共同組合（榛東村）
- ・宮本卯之助商店（浅草）ほか

○衣裳・旗・幕等の新調: 約 2 万円～60 万円

- ・吉田旗染店（みどり市）
- ・清水増（高崎市）
- ・桐生織物協同組合（桐生市）
- ・宮本卯之助商店（浅草）ほか

■神楽

○神楽面・道具の修理・複製: 約 10 万～250 万円

- ・三陽被服工業（前橋市）
- ・上州神輿製造業協同組合（榛東村）
- ・三陽被服工業（前橋市）
- ・宮本卯之助商店（浅草）
- ・瀬戸装束（中野区）ほか

○衣裳の新調・綺羅: 約 90 万～800 万円

- ・大島衣装屋（前橋市）
- ・宮本卯之助商店（浅草）
- ・瀬戸装束（中野区）ほか

○太鼓の修理: 約 10 万円～30 万円

- ・山口太鼓店（太田市）
- ・吾妻太鼓店（東吾妻町）
- ・上州神輿製造業協同組合（榛東村）ほか

○道具の修理・新調: 約 10 万円

■祭り囃子

○山車・屋台の修理: 約 30 万～250 万円

- ・日本大工振興（前橋市）
- ・堂宮入秀社寺建築（渋川市）
- ・生形工務店（伊勢崎市）
- ・乾木工所（鹿沼市）ほか

○太鼓の修理・新調: 約 10 万円～50 万円

- ・山口太鼓店（太田市）
- ・吾妻太鼓店（東吾妻町）
- ・宮本卯之助商店（浅草）ほか

○人形・緞帳の修復: 約 100 万円～220 万円

- ・晃月人形（高崎市）

10. 修理や修復の課題について(自由回答)【調査項目 Q5-③】

修理や修復の課題について尋ねたところ、次の回答をいただいた。各伝統芸能団体の声を届けるべく、出来る限り原文のまま記載している。

■人形芝居

○費用・時間

- ・高額、時間がかかる。
- ・人形の頭、小道具類、三味線、見台など修理や修復の必要があるものが多くありますが、費用が高額、時間を要する等なかなか厳しいのが現状です。年に1つでも2つでも修理、修復が出来ればと思っています。

○修理・職人

- ・今まで依頼していた人形師が音信不通になった。
- ・人形の衣裳やレプリカを作成してくれる方が亡くなられ、どこに依頼したらよいか分からない。
- ・県内に人形(衣裳)の修理や制作をする業者がいなくなり、県外に文化財の人形の頭(レプリカ)を依頼すると、費用が35万円前後とのことで困っている。

○その他

- ・現在は、現存する人形、小道具を使って対応しているが以前、または芝居が始まった当時、どのような人形や道具が使われていたかを知る情報もなく不明な部分も多く、手掛かり等も少ない。
- ・小学校に人形芝居クラブの開設を依頼しており、小学生用の人形の制作をしたいが、材料や人形の仕組み、制作手順等の手ほどきをしてくれる方がいればご指導をお願いしたい。

■歌舞伎

- ・歌舞伎に興味がないと容易に修理出来ない。仲間でないとは簡単に頼めない。
- ・色々作成したとしても、保管場所がもうこれ以上ない。教育委員会でも引き取ってくれないので、そろそろ廃棄しないと家にものが置けない。

■獅子舞

○修理・職人

- ・修理してくれる業者を知らない。
- ・獅子頭の本格的な修理依頼先が不明。
- ・獅子頭が傷んでいるが修復方法がわからない。
- ・特に獅子頭の修理・修復の依頼先がわからない。
- ・獅子頭の脱着の修理をしたいが、上手に出来る場所があれば知りたい。
- ・年々、職人さんが減ってきている。
- ・依頼先店主が高齢で後継者がいない。
- ・現物を目視(写真だけでなく)していただき、ある程度正確な見積りをいただける業者があればいいと思う。そのためには、業者が県内にあり、信頼出来る業者を紹介いただけるシステムがあれば助かる。

○材料(獅子頭の鶏羽根)

- ・獅子頭の修理はしていない。自分たちで羽根替えをしているが、羽根が手に入らない。
- ・獅子頭に付けている鶏の羽根が東天紅という鶏の尾羽根をたくさん使用しているが、現在入手が困難とのこと。二十年程前は数羽飼育していたが、現在はゼロ。
- ・獅子頭のたてがみが東天紅という鶏の尾羽で形成されており、現在は入手が難しい。舞いをしてる時に抜けてしまっても補修出来ない。今後が不安である。
- ・獅子頭にさす「羽」の調達に苦慮している。入手が困難になっている。

○補助金・助成制度

- ・補助金を増やして欲しい。
- ・修繕費についての支援事業補助金の拡大。
- ・高額の費用がかかる。補助があれば助かります。
- ・獅子頭の修理等は多額の費用捻出が大変である。補助金制度使用の場合、自己負担金の用意が大変そう。
- ・費用が多く、補助制度の利用手続きが大変、県や

市からの情報がほしい。

- ・今回、宝くじの助成金で修理出来たが、修理に当たり全額氏子だけでは不可能である。
- ・修理にあたり、県や市の補助金もありますが、限度額があり全面塗り替えするには 200 万円以上かかるため、資金を確保するのが大変。(当地の獅子頭は 330 年間一度も塗り替えしていないため、業者から蒔絵の文様の判別がつくうちにとアドバイスされた。)

○費用

- ・予算がない。
- ・修復の金額が高い。
- ・修理するための費用がない。
- ・修理代が高額。修理代金の工面。
- ・道具の傷み具合に応じた予算の確保。
- ・費用の面で心配 (かなり高額なため)。
- ・修理や修復には時間とお金が必要である。
- ・太鼓の皮が破損してしまい、経費がわからない。
- ・壊れた時に修理や修復に多額の金額がかかる。
- ・積み立てをしているが、高額修理費の工面。
- ・どの伝統芸能も地域色が強く、修理や修復には負担金が大である。業者も少ない。
- ・年々、物が老朽化するので、修理費用が大変になってくる。
- ・装束、道具等の補充及び傷みがあるが新調、修理のための予算が少ない。
- ・専門業者への依頼となるため、どうしても金額が高くなる。
- ・まだ修理依頼したことはないが、刀や衣裳を購入したことは 2、3 回あります。課題は費用が多くかかること。
- ・材料が入手困難だったり、高価なものが使われていたりして費用がかさみ、予算上のネックとなり実施が出来ない。
- ・今から約 10 年前に修理と塗り替えを行った。修理代金は村と保存会で出した。
- ・長年懸案の問題であったが、新型コロナウイルスの蔓延により活動練習等が中止となったため、少ない予算のなかで捻出出来た。
- ・子ども用カシラを含めて 12 個あるカシラ全てで、すでに多少の修理は必要な状態ではあるものの、会員による簡単な応急修理で凌いでいます。近い将来本格修理が必要となった時は修理箇所が

多い分、費用の点で課題を抱えています。

- ・見積りを取りましたが、高額だったため、保留。現在積立をしている。
- ・小人用獅子が別に 3 頭あります。適当な時期に修繕を考えています。
※H25 年度に、大人の獅子修繕は国の補助金を受けています。
- ・獅子頭の修理には多額の経費が必要。その他、半纏や衣装の調達も必要。これらに対応するため、手厚い支援が必要と思われます。現状の支援事業では当保存会の自己負担分も多額になるため、経費の確保に苦勞しています。また、道具類の修理等の助成が何回でも受けられる制度が必要だと思っています。
- ・助成金が出るとの事で一度修理をしてもらったため、今後修理を行うことになっても、継続出来なくなる状況なので、修理の必要性がなくなると思う。最後は保管してそのままの状態になってしまうと思います。

○その他

- ・全員で修理している。
- ・獅子毛の減少。獅子面の塗り。
- ・子ども太鼓の皮は、楽器店で注文仕入れ。
- ・修理や修復しても、活動は出来ないと思う。
- ・獅子頭などは壊れた事がないので不明。
- ・同じ物がなくて、似ているもので修理している。
- ・平成 8 年に道具類を購入したため、これまで修理等が発生していない。

■神楽

○費用

- ・予算不足。
- ・金額が高い。
- ・村からの補助金。
- ・修理を頼む予算がありません。
- ・修理や修復の費用が大きい。
- ・金額です。3万円以上となると出せない。
- ・金額3万ぐらいなら出すことは出来るが、これ以上だと年間の行事が出来なくなる。
- ・会長の自己負担、行政の一部補助有り。
- ・衣装などの修復に多額の費用が必要となるが、財源が乏しく対応出来ない。
- ・修理、修復があった場合、神社の手持金からの支出であり、あまり資金はないと思う。
- ・修理必要な神楽面、装束等が多いが予算がなく実行に至らない。
- ・修理や修復は、高額な支出となるため、補助金を積立している。
- ・数年前に、お囃子の3人がかぶる烏帽子を新調しましたが、1個8万円で計24万円かかりました。財政的に大変さがあります。
- ・袴ひとつにしても50万円以上となり、修復は大変です。氏子からの寄附を受けないと修復出来ません。道具等は神主さんに相談して考える。

○衣裳（綺羅）・道具

- ・衣裳が古くなってきた。
- ・面などは出来ると思いますが、衣装は難しいです。
- ・神楽で使用する着物（綺羅）等の補修をしていた村のご老人が亡くなってしまい、後継者がいない。
- ・演目により、どのような衣装にすべきなのか記録もなく、選定するのに苦慮した。ほかの神楽を見ても、明確となっていないところが多く、何が正しいのか分からなかった。
- ・太鼓やお囃子の道具は修理等が進んでいるのですが、舞の衣裳が古くなっている物があります。定番の袴や狩衣等の手配先はありますが、神楽独自の衣裳は手配先が現時点では無い状況です。
- ・小道具は手作りが大半で、市販品には該当するものがないため製作が難しい。材質や寸法、色等の記録が必要と思われる。

○補助金・助成制度

- ・活用出来る助成制度があるか？
- ・乏しい財務状況の中で、衣装や道具類の劣化に対する更新、修繕が思うように進められない。制度を利用し、順次行っているが1/3または2/3程度の持ち出しが伴うため、戸惑ってしまうのが現状です。公的、民間助成の充実を望みます。

○修理先

- ・面、冠もの、垂れ等の適切な修理補修をしたい。出来れば依頼先を教えて欲しい。

○その他

- ・今は、練習も出来ないのと考えていない。
- ・自分たちで修理するようにしています。
- ・太鼓等の楽器は、以前使用していた物との音程の違い。
- ・太鼓の張替は致しました。今は業者と連絡していません。まだしばらくは大丈夫です。
- ・保存会活動の文書作成（会計、活動記録、同計画等）をきちんと行っておくこと。
- ・自前の活動費集金システムの確立と補助金情報調査能力、見積書入手の能力。

■祭り囃子

○費用

- ・予算付け。
- ・資金が必要なこと。
- ・費用が多額になること。
- ・費用捻出、助成金の有無。
- ・修理代が高いのではと不安。
- ・高額になるものは、数年前から準備する。
- ・修繕費が多額であり、負担が厳しい。
- ・買い替えた方が安い場合もある。
- ・修理は可能であるが費用の捻出が大変である。
- ・修理費用を工面するのが大変である。
- ・費用が高額になるため、予算の確保が大変。
- ・費用が高額であり、自治体等の負担では困難。
- ・特に文化財の指定を受けていない物件については補助対象外となり、自治会経費では賄うことが困難となっている。
- ・大正14年の屋台車輪や車軸の損傷があり、修理が必要。修理代160万円位。
- ・町内世帯数が少なくなっており、資金面での準備が大変になってきています。山車の人形の修繕など金銭的には大きな負担となります。

○修理（修復）先・技術者

- ・依頼先探し、また費用捻出。
- ・依頼先や費用について。
- ・長胴太鼓の皮の張替を行いたい。
- ・山車の車輪整備は伝統技能士が少ない。
- ・修理や修復をお願い出来るところ、かかる費用。
- ・複数の業者がわからず、見積もりが適正か、高価か安価かの判断が出来ない。
- ・現状の状態がわからない。専門の方に検査していただきたい。
- ・以前より取引をしていますので、信頼関係が良好です。特に課題の問題はありません。

○補助金・助成制度

- ・一度だけでなく、何年か間が空いたら再度使えるような助成金があればと思います。
- ・区から補助を受けるなど、県・市の助成金を申請し、何とか修繕している。
- ・修理にあたり、文化庁補助金の助成を活用させて頂きましたが、昔は100%全額補助金を頂きました。現在は15%の自己負担金があり、その資金の集め方に苦労しました。

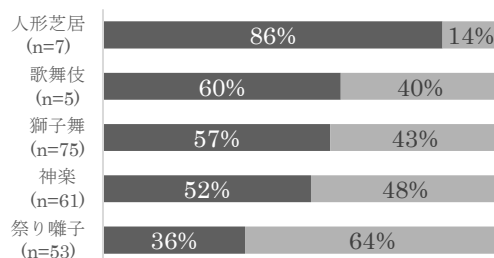
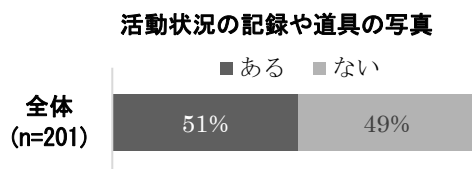
- ・伝統文化支援事業補助金について知りたい。
- ・修理や修復には、高額な修理代がかかるので支援事業補助金等がないと、行えない。
- ・高額（10万円以上）になれば、会員の寄付だけでは負担が大きい。補助金を申請しても、あくまで補助金なので50万円かかれば、25万円の負担がかかります。今あるものを丁寧に使用していくしかありません。
- ・長胴太鼓の皮の張替時は、締め上げ時に音色を聞いてから締め付けてもらった。屋台の修復時は修復内容が間違えないように何度も修復現場にて立会いを行った。

○その他

- ・修繕箇所と同じ塗料がなく、色の再現が困難。
- ・文化6年の屋台があり、運行上の保安部分の補修等を行った。
- ・彫刻の修理塗り替えも、維持管理が困難となっている。
- ・幕の復元は金属のものは錆びてしまい、復元が困難だった。
- ・人形の顔の元データが鮮明に残っていなかったため、現代風の顔になって戻ってきた。
- ・昔の塗装が何重にも重ねて塗ってあったため、色を落とすことに苦労した。
- ・高齢化による今の年配役員がいなくなってしまうと、屋台の本体構造や動かし方、修理方法など分かる人がいなくなる。

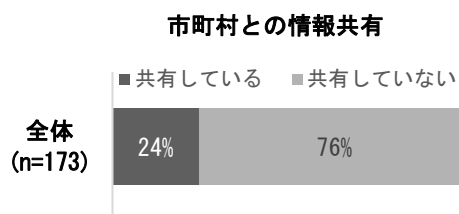
11. 活動状況の記録や道具の写真について【調査項目 06】

防災の観点から、活動状況（いつ、場所など）や道具（名称、個数、保管場所など）について、写真や記録を残しているのか尋ねたところ、全体では「ある」51%、「ない」49%である。

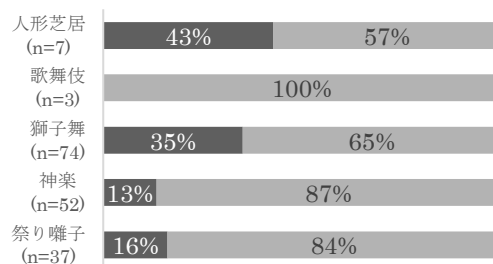


12. 市町村との情報共有について【調査項目 06-②】

活動状況や道具の写真や記録の情報を、市町村（文化財保護部局）と共有しているのか尋ねたところ、全体では「共有していない」76%、「共有している」24%である。

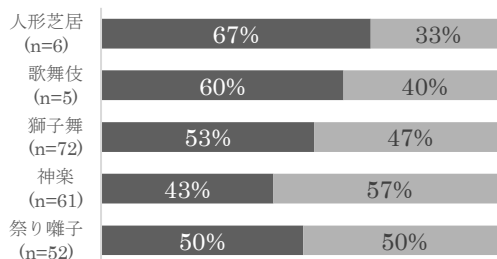
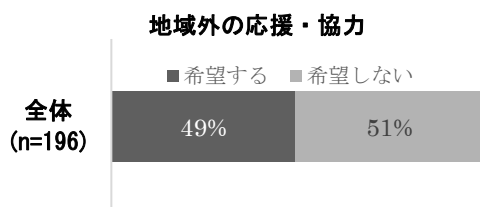


指定文化財の伝統芸能は、情報を市町村と共有する傾向にある。また、高崎市内の伝統芸能は、他の市町村に比べて共有率が高い。



13. 地域以外からの応援・協力について【調査項目 07】

活動を続ける上で、地域以外からの応援や協力を受け入れる希望について尋ねたところ、全体では「希望しない」51%、「希望する」49%である。



14. 地域以外からの応援・協力を希望する内容や条件について(自由回答)【調査項目 Q7】

地域以外からの応援や協力を希望する内容や条件について尋ねたところ、次の回答をいただいた。各伝統芸能団体の声を出来る限り原文のまま記載している。

■人形芝居

- ・地区名が入った組織であるが、メンバーは高齢者ばかりであり、地区内で会への参加を呼びかけているが、参加希望者等はなく、現状では自然消滅してしまう状態にあると思われる。地区外であつても興味や関心を持つ方には参加し、人形に触れてもらい、可能であれば会員として活動(全てボランティア)して貰いたいと考える。
- ・NPO 法人ぐんま郷土芸能助っ人塾の地域版のような組織が出来たらと思います。支援や応援などが座員の高齢化などで必要になっています。子どもや若手の座員が伝統芸能の継承に不可欠ですが、公演などに参加出来ない事もあり、やはり確実な人が欲しいのが現実です。

○指導

- ・三味線や義太夫の指導を受けられる機会。
- ・小学生クラブ活動について、その運営や指導の内容、方法などを学びたい。
- ・現在、3つの演目については不十分ながら上演出来るので、弁慶上使や阿波の鳴門などをご指導いただきたい。但し、ほとんど謝礼が出来ません。

■歌舞伎

- ・従来から助っ人塾の協力を得ている。
- ・県内のどの団体も高齢化し、加入者がなく維持に大変苦労している。出来る限り協力して活動を続けたい。

■獅子舞

○内容・条件

- ・男女問わず、長く続けられる人。
- ・保存会への参加をお願いしたい。
- ・希望はするが、こちらの要望はありません。
- ・少子化に伴い、地区以外にも募集を募りたい。
- ・地区に限らずやる気のある人を集めなくてはと思っています。

- ・外部からの応援や協力については歓迎します。
- ・少子化なので、他地区の子どもに要請をお願いしたい。
- ・毎月2回の練習があるが、参加が可能な人。
- ・地域芸能なので地元住民で維持したいが、出来ない場合は、地域外支援を受けたい。
- ・大学生などのサークル活動で協力して頂けたら良いと思います。
- ・最近はお子さんの数が少ないので、地区外のお子さんも大人にも協力していただく必要があります。
- ・地区以外で獅子舞を習いたい希望者を募りたい。地元でも回覧等で募集しても男子(20代)が集まらない。
- ・地区以外からの小中高校生等の後継者を育成しなければ保存出来ないの、他地区のお子さんも練習に参加出来るような応援体制が欲しい。
- ・地域では小中学校の児童生徒が少なく、また小学校高学年になると少年野球やサッカーへとなり、参加協力いただける子ども達は皆無の状況です。他の地域からも関心があれば受け入れたと考えています。

〔獅子の踊り手不足〕ここ数年は30代後半～50代の大人が演じている。

- ・2年間の活動休止を乗り越えられるか否かを見極めた上で、地域外の応援や協力を希望したい。
- ・コロナがあけたならば、事業活動及び地域を中心に行っていた継承事業等に積極的に取り組みたいと思っています。しかし、今後、地域内のみでは継承事業がままならない場合には、地域外からの応援や協力を求めて行くことが重要な選択肢と思っています。

○笛方・舞方

- ・笛の指導が困難な状況にある。
- ・笛やカンカチの人材が集まらないため。
- ・笛方や舞方の参加。
- ・出来れば笛や舞をしてくれる人。

○スタッフ

- ・スタッフ増員。
- ・特に人材。一緒に活動してくれるスタッフ。

○団体間の情報・協力

- ・保存会に継承されていない演目を学びたいので、同流派からの情報と協力がほしい。
- ・団体交流を深め、協力しあえたらと思います。

○マッチング

- ・コンサルティングが必要。
- ・希望はするが、調整が困難。
- ・保存会に興味を持てる人たちを受け入れたいので、情報提供出来るような機関と協力していきたい。

○発表

- ・まずは認識してもらうために発表の機会を得たいので、各機関に計画して頂きたいと思います。

○費用

- ・経費的な支援が必要です。道具類(獅子頭、太鼓、舞用の道具、衣装)の維持が安定的に行えるよう支援が必要だと思います。

○会場移動時の応援

- ・出演する場合その会場(場所)に移動する時の応援や協力。マイクロバス等の移動支援。

○未定

- ・これから考えたい。
- ・必要があれば希望する。

■神楽

○内容・条件

- ・特に条件はありません。
- ・練習や奉納に参加出来る人。
- ・興味があって、参加したい人がいれば大歓迎。
- ・地域内は人員が集まらない。若い人がいない。
- ・賛同し協力していただける方がいれば、男女を問わず歓迎します。
- ・従前は地域内に団員を求めてきたが、入団希望者も少なく高齢化による存続の危機。広く興味ある人の入団も可としたい。
- ・氏子有志で継承することを基本としているが、横笛の継承者が育たず、隣の市から応援を頼むことも検討している。今後の課題として残っている。
- ・地域の人口減により、習う希望者が無いので希望者がいれば受け入れたいが、努力することを厭わない人は少ない。

○取組み中

- ・村外より笛2名、太鼓1名の協力を得ている。
- ・現在も地区外の人のお世話になっている。
- ・後継者不足により5年先が心配。現在も地元住民だけでなく市内広域から参加していただき、保存会を維持している。
- ・神楽をしたい申込があれば賛成です。今は足利市、太田市から3人は来ていると思います。地元の人達では無理です。

○撮影

- ・保存会員が少なく、自分達では映像撮影が出来ません。撮影及びDVDのお手伝いをして頂けるのであればお願いしたいです。

○情報発信

- ・地域芸能保全に対する理解を更に深めて頂けるような情報発信の工夫など。

○費用・財政支援

- ・活動費の助成(毎年継続的に)。
- ・祭り費用の助成(毎年継続的に)。
- ・もちまき用のもち購入費用 他。
- ・神社からの謝礼と町からの助成金しかないため、大きな修理等が出来ない。

○その他

- ・衣装・道具等のメンテナンス。
- ・よその地域の間合いを見たいと思います。
- ・地域以外からの応援は希望しますが、少数なため難しい。

■祭り囃子

○内容・条件

- ・自分達のやり方、運営方針を遵守してもらうこと。
- ・お囃子に興味があれば誰でも可(子供・大人・男女)。
- ・お祭りやお囃子が好きな方でしたら条件は問いません(但し、中学生以下は親の承諾が必要)。
- ・保存会の活動が活発になるなら、いかなる団体等とも交流したいと思います。
- ・町内住人の知人、親戚、仕事関係で関心がある人なら受け入れたい。囃子の人員、山車の運行時の引き手、当番町時の神輿のかつぎ手、囃子の練習に参加出来る方、準備等に参加出来る方、当日宿泊を自分で手配出来る方。

○取組み中

- ・基本的には、町内から引っ越し、結婚等で転出していった方が、里帰りも含めまつりの時期に戻ってくることが多いが、町内によっては、無条件で受け入れている町内もある。
- ・数年前より町内在住の友人を中心に参加してもらっています。ただ祭りの意義を理解してもらうことがなかなか難しい問題もあります。
- ・市内の山車のない町内の小学校高学年を対象として山車まつり（町内）への参加希望を募っている。また、各町内でも、独自で協力を受け入れる町内もある。

○屋台の引き手

- ・年々、祭りでの屋台の引き手が不足している。
- ・コロナ後、祭りが再開された場合、引き手が十分集まるか心配しています。
- ・もし、屋台の引き手を募集出来るルートがあるのであれば検討したいです。

○囃子

- ・お囃子自体の応援は、現在は不要と考えておりますが、もしお囃子をやりたいと希望する方は歓迎いたします。
- ・会員の高齢化により、横笛奏者が少なくなり、機会のたびに出かけて指導を受けています。

○費用支援等

- ・財政的な支援。
- ・修理代資金の補助を要求する。
- ・運営活動に要する費用の補填等。
- ・屋台や囃子道具等の修復時に県や国の補助金を活用する。
- ・地区住民による保存会で、地区に1台の屋台があります。道具の老朽化等により、今後高額な費用の発生が懸念されます。その際は補助金の申請を希望したいと思っています。
- ・山車、神輿等は自治会所有で、元来は神社の什宝備品と考えている。基盤となる神社が老朽化し倒壊の恐れもあるが自治会での財源では対応不能である。行政においても「政教分離」により支援不能との見解があるが、「地域の伝統文化の拠点」としての神社であることから事業団など行政から離れた立場で支援制度を整備願いたい。

- ・修復後の山車を現在の仮小屋「山車倉」にて保管しているが、仮設であるため倒壊破損の危険性があり、再建の必要がある。再建費の支援等協力を願いたい。

15. 地域以外からの応援・協力を希望しない理由について(自由回答)【調査項目 Q7】

地域以外からの応援・協力を希望しない理由について尋ねたところ、次の回答をいただいた。各伝統芸能団体の声を出来る限り原文のまま記載している。

■人形芝居

- ・現在、コロナ禍で練習等が休止中なので、受け入れ態勢が整っていない。

■歌舞伎

- ・極力地元で協力してやっていきたい。他人まかせでは長続きしない。もっと本気になってほしい。

■獅子舞

○伝統・地域

- ・一子相伝。
- ・地域内の伝統である。
- ・地域全体で取り組んでいる。
- ・地区独自の祭り。地区保存会のため。
- ・獅子舞は各地区の特色があり、難しいと思う。
- ・まず地域内の協力をお願いし、体制化する。
- ・地域芸能なので、他地域の応援を受けづらい。
- ・出来たら集落内の人でやっていきたい（集落内氏子の祭りだから）。
- ・地元から来た人に声をかけ（関心がある人）引き継いで頂けたらと思うが、かなり難しいと思う。
- ・出来れば地域で人員が集まればいいのだが、なかなか獅子舞に興味のある人が少ない。
- ・区域の行事なので外部からの協力を受けるのは難しい面がある。
- ・村うちで行っていて、地域以外の方が入るとまとまりが難しいので。
- ・町内で代々受け継がれてきたものに対し、責任がある。一時的に一生懸命になって動く人が現れても、その人が退いたあとバラバラになってしまつては……という思いがある。以前、中学校の活動として教えたことがあるが、校長の転任と共に衰退してしまった経緯がある。
- ・中学生（舞子の7名）が少なくなり、小学生の男女を問わず、女の子にも舞子を頼んでいる状態。それでダメなら大人に舞ってもらう。

○順調

- ・現在、保存会の中で活動出来ているため。
- ・1日限りの祭りなので、今のところ、地域内の人達で出来る状態です。
- ・人手不足であるが、かろうじて活動出来ている。

○規約・続き

- ・手続きや書類作成などが複雑といわれている。

○危機

- ・戸数が少人で、集落自体が終わりになるため。
- ・近いうちに保存会の活動が維持出来なくなる。

○未定

- ・保存会全体で話し合っていないのでどちらともいえない。
- ・約15年前より小学校にて実演指導しているが、運動会にての演舞のみで水平展開されていない。

■神楽

○地域・伝統

- ・地域以外からの応援は考えていません。
- ・会員の確保は必要だが、主体性が案じられる。
- ・外部の流れを入れたくない。地元の流れを通す。
- ・地域外の人には長続きしない。効果が期待出来ない。
- ・同一村内の人しか、集合時間的に練習等活動に参加出来ないと思う。
- ・地域で出来なくなったら他を頼んで行いう意味は無いと思うので、縮小または中断となると思う。
- ・応援、協力の内容にもよりますが、まとまっている状態を急に口出し手出しをされたくないとの思いがあります。
- ・「舞」にしても「太鼓・笛」にしても、それぞれ異なったもので、簡単に合わせられないように思います。

○神社（氏子）

- ・氏子地域で継承する意欲が薄れる。
- ・希望しても各地域に神社があり、協力は困難。
- ・小さな神社のため地域外の協力に無理がある。
- ・古くより神楽連中の人達を神社氏子より選出していたため、地区外の方の入会は難しい。

○未定

- ・今は考えていない。
- ・今のところ、特にそこまで考えていない。

○順調

- ・地域内で人材が賄えるので希望しない。
- ・取扱要項に則り行える。内々で活動出来る。
- ・地域の伝統芸能は地域外からの応援は必要無し。
- ・人力的な確保については、氏子内で十分出来る。

■祭り囃子

○順調

- ・自治会の支援で十分です。
- ・協力してもらえないことはないです。
- ・現在の応援、協力により、何とか維持、継承が可能と感ずるため。
- ・人力的な確保については、氏子内において対応出来ている。
- ・数年前、衣裳、道具等を揃えて、現在大事に利用している状況であります。特に問題ないと思います。
- ・現在は区内で対応出来ているが、区民の減少や高齢化が進んだ時には応援が必要となると思う。
- ・今のところは指導出来る年代の人がいるので大丈夫ですが、その後の年代へ継承がうまく出来てないと思うので、ゆくゆくは希望せざるを得なくなる可能性があります。
- ・地区に5台の屋台囃子保存会があり、協議会組織を作り活動しているため、応援依頼も出来るので必要ない。
- ・3年に1度の参加なので、当番に当たったとき希望する小学生に教えるだけで、一応の形が整えば良いと思っている。

○地域・伝統

- ・地域以外の協力団体を知らない。
- ・地域内の活動であり必要としない。
- ・行政区で完結及び氏子として完結しているため。
- ・本来の伝統で町内以外の人に参加するのが難しく、他町内の参加者の世話が難しいことがある。以前は町外の方は引き網も触れなかった町内もある。

○未定

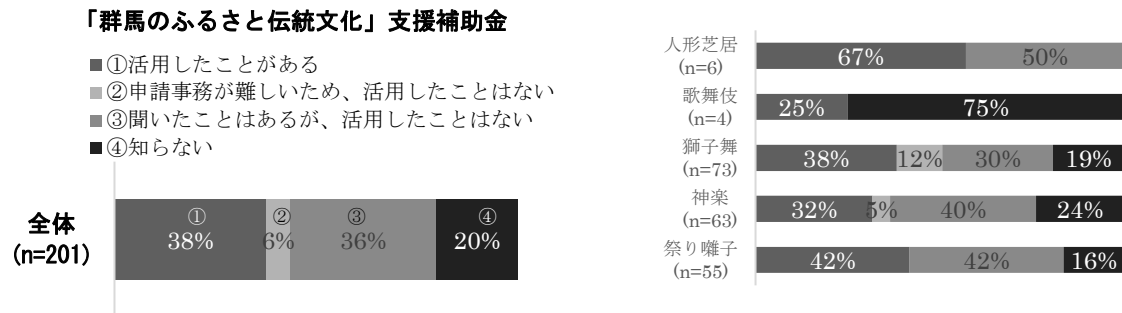
- ・現状、地域として活動の中心組織がはっきりしないため。
- ・現時点では希望しません。これから先については不明です。お祭りをしていないので未定。

- ・役員や指導部が高齢化していく中で、外部とのやり取りが円滑に進んでいくイメージがない。
- ・通年の活動以外にスポット参加がある場合があるので、これ以上参加活動は控えている。
- ・現状では、地域に伝わった文化財であるので、基本的には地域の中で継承出来たらと考えています。コロナが収まれば可能性は残されていると思います。これまでも行ってきましたが、地域外への応援や協力はあり得るかと思っています。

16. 群馬県支援事業補助金「群馬のふるさと伝統文化」について【調査項目 Q8】

群馬県には、県内各地で戦前から続いている伝統文化を守るため、県がその経費の2/3を補助する補助制度があります。本補助制度について尋ねたところ、全体では「活用したことがある」38%、「聞いて

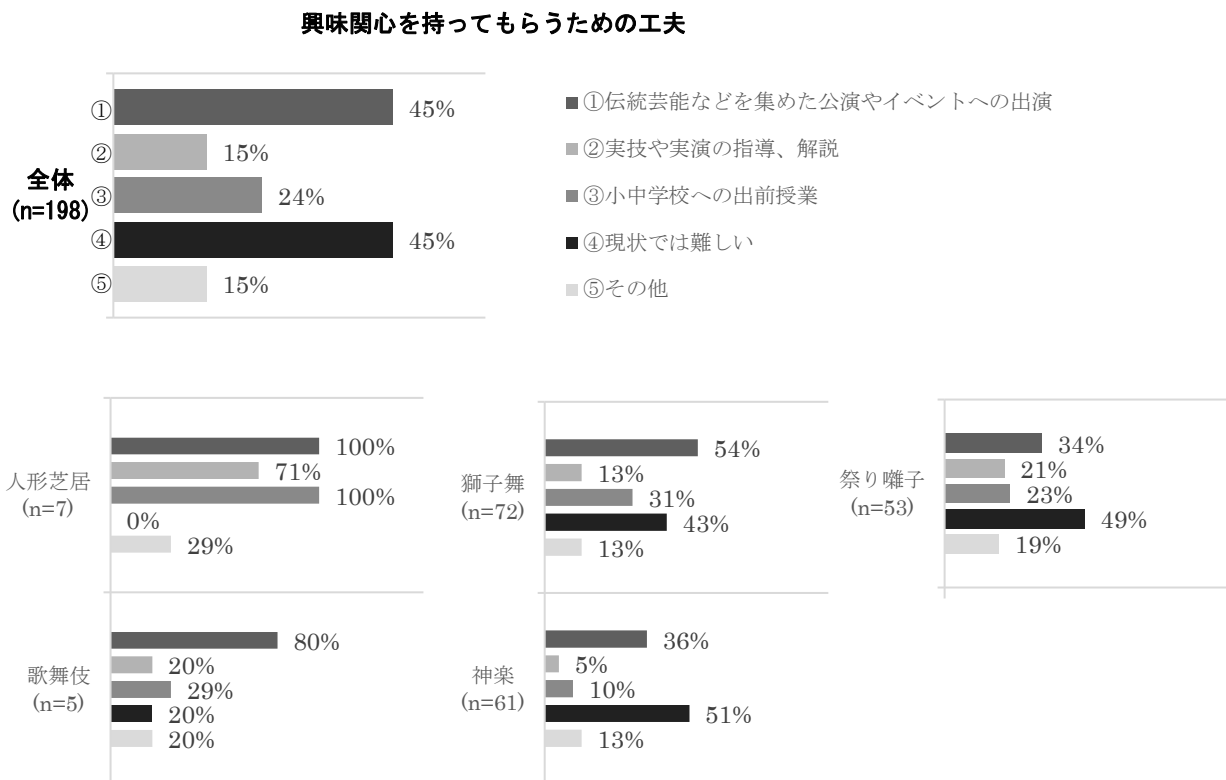
たことはあるが、活用したことはない」36%、「知らない」20%、「申請事務が難しいため、活用したことはない」6%である。



17. 興味関心を持ってもらうため、実施したいことについて(複数回答)【調査項目 Q9】

多くの方に興味関心を持ってもらうために、実施したいことについて尋ねたところ、全体では「伝統芸能などを集めた公演やイベントへの出演」「現

状では難しい」がもっと多く45%、次いで「小中学校への出前授業」24%、「実技や実演の指導、解説(体験教室など)」15%である。



興味関心を持ってもらうため、実施したいことのその他の意見は、次のとおりである。

■人形芝居

○学教教育との連携

- ・小学校へは、人形芝居のクラブ活動をお願いしているが、指導内容がまだ手探り状態である。
- ・中学生には、親子人形芝居教室を募集したい。

○発表

- ・町内での実演が不可能のため、外への行事は中止の状態です。

■歌舞伎

- ・10年前は地元の小学生5、6年生に2～3年置きに歌舞伎鑑賞会を行っていた。

■獅子舞

○充実

- ・伝統を祭りに利用する。
- ・現在の年間計画を充実していく。

○学教教育との連携

- ・小学校への出前。
- ・小学生に獅子舞・笛・祭礼棒の指導を行う。
- ・木崎小学校からの要望で生徒に舞を披露したことがある。

○公民館との連携

- ・地域の公立公民館と協力、共催で祭りへの奉納とは別の演舞の機会がもてるとよい。これは今後の希望です。以前、公立公民館から、このような相談があり、前向きに検討したが、実現に至らなかった。

○発表の場

- ・地域文化フェスティバル出演。
- ・定期的春祭り（コロナ以前）以外に年に1～2回出演する機会があった。

○新たな挑戦

- ・伝統を踏まえ継承した上で新しい舞の創作やミュージカルのような応用。

■神楽

○幼稚園・学校との連携

- ・小中学校以外の保育園やこども園等に出演したが、理解していない。

- ・中学校の部活は出来ないかな？
- ・少子化で運営が難しいが子ども達の伝統文化に対する意欲が湧く様な学校教育が必要だと思います。通知表に地域で行われている伝統文化に参加の度合を評価してもらえたらと思います。
- ・小学校への出前教室を行っているが、5、6年生から3、4年生に引き下げられてしまい、神楽の理解を求めるのが難しくなった。5、6年生は忙しいとのこと。中学校で一度公演したが、熱心な先生が異動となり、それきり止まってしまった。

○その他

- ・神楽は無理だと思います。
- ・既定の例大祭期日（4月8日）を、今年から「4月8日に近い日曜日」に変更し、見物・客数の増加を図り、神楽師のモチベーションUPを期することとした。
- ・祭りへの小中学生、園児の来場呼びかけPR。

■祭り囃子

○発表・披露

- ・市の郷土芸能発表会には数回出演している。
- ・行事として何度か町内を引き回した事はある。
- ・公演については他の6町の若手が合同で主導して毎年行っております。同じく若手メンバーが今年行いました。

○今後の課題

- ・今のままでは、後継者が出来ても地元に住ないため衰退していきます。
- ・伊勢崎市教育委員会主催の小学校の放課後子供教室で囃子の指導を行った（令和2・3年度）。

○コロナの影響

- ・新型コロナウイルスの収束後、情報発信を充実。
- ・コロナ後の状況に合わせ活動を再開したのち、検討したいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大やまん延防止等重点措置の延長等、実施の判断が難しい。
- ・伝統芸能は学校教育では学べない、幅広い年齢層との関わり合いが出来、人間力を磨く良い機会のため、教育の場を結び付けたいという想いがあるが、若手が多い団体のため平日の対応が難しい。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から現状は難しい。

18. 興味関心を持ってもらうための工夫について(複数回答可)【調査項目 09-②】

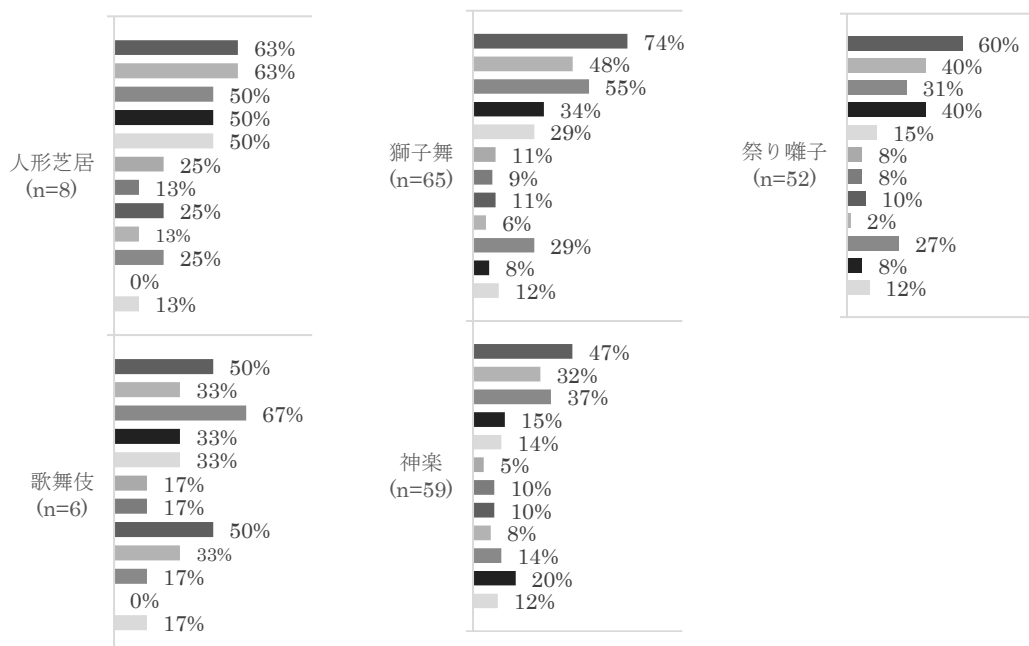
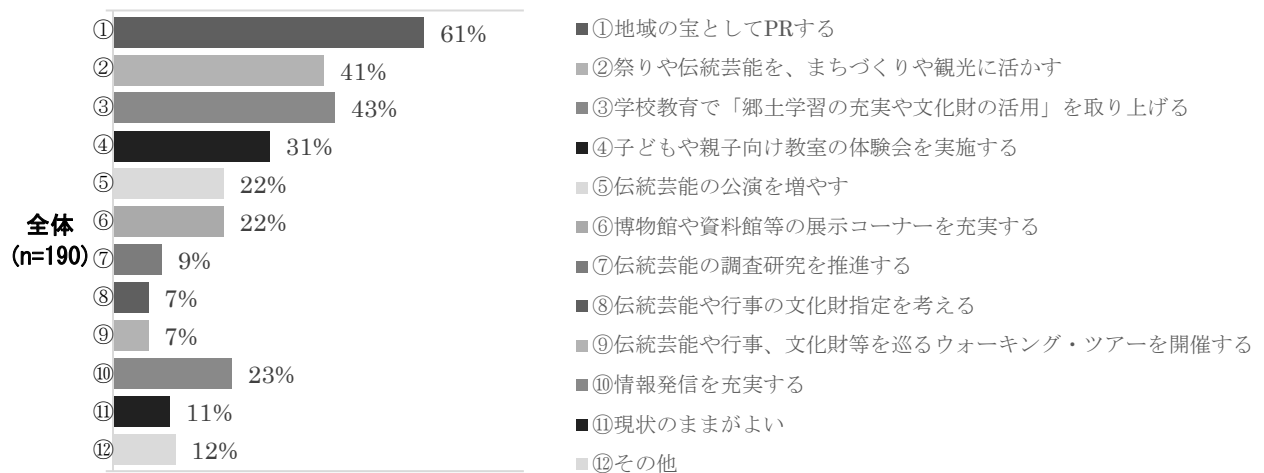
多くの方に興味関心を持ってもらうためには、どのような工夫が必要であるのか尋ねたところ、全体では「地域の宝としてPRする」が61%と最も高く、次いで「学校教育で『郷土学習の充実や文化財の活用』を取り上げる」43%、「祭りや伝統芸能を、まちづくりや観光に活かす」41%、「子どもや親子向け教室の体験会を実施する」31%、「情報発信を充実する」23%、「伝統芸能の公演を増やす」「博物館や資料館等の展示コーナーを充実する」22%、「現状のままだがよい」11%である。

その他の意見は、次のとおりである。

■人形芝居

・地元開催をして地元の理解と後継者の養成を図りたいが、そのためには、市の補助が必要不可欠である。特に300年祭に向けて。地元の人形舞台で公演するためには、音響や照明の設備が必要であるが、市のスタンスは半額補助のため、資金不足で地元開催が難しい。

興味関心をもってもらう工夫



■歌舞伎

- ・所属する渋川歌舞伎、群馬伝統歌舞伎の皆様、師匠様方のご支援に感謝致します。

■獅子舞

○学校教育との連携

- ・学校教育の評価を検討してほしい。学校の運動会に披露の場を作れないか？
- ・毎年、地元の小学校の3年生を対象とした出前講座を実施しています。
- ・子ども時代に郷土行事等を学校で知らせて頂ければ、その場所に住み着いた時に参加したくなるのではないかな。
- ・昭和62年度より数年間、地元の小学校の運動会にて獅子舞がプログラムの一部に組み入れられ、3～5年児童により舞ったと聞いています。

○伝統芸能（文化財指定）

- ・郷土芸能史の特設展示を行う。
- ・藤岡市の文化財指定を取りたい。

○デジタル技術の活用

- ・行事の生配信。
- ・デジタルを生かし、県内祭り行事に行くと、〈祭りマイル〉がたまるようにする。

○その他

- ・活動中止のためなし。
- ・芸能理解者が少なすぎる。

■神楽

○周知・PR

- ・伝統芸能そのものと、由来、歴史等のPR。

○映像配信

- ・夏祭り映像を冬でも見られるようにする。
- ・伝統芸能を主体とした祭り映像を、現地でインターネットを使って見られるようにしたい。

○文化財指定

- ・文化財指定は、地域に誇りを与え、活動への活性化に大きく影響するファクターに思えるが、地域芸能や文化に対する地域づくりへの貢献度理解も含めて行政サイドの意識が乏しく、文化財指定への活動を試みてはいるが、申請サイドの熱意が理解されない。

■祭り囃子

○伝統芸能のあり方

- ・活動している我々自身も伝統芸能の在り方をしっかりと議論し、守るべき部分と時代に合わせ変化、進化させていく努力が必要だと思う。
- ・確かに、伝統芸能は古くから伝わってきたものを大切に継承していく必要があるが、そのままを伝えるだけでなく、その時代に合わせて進化させていく必要があると思っている。行政だけに頼るのではなく、その時代に受け入れられないものは廃れてしまう。

○学教教育との連携

- ・小学校での放課後子ども教室のように、教育委員会や自治体が後押しする事業があればと思います。

○調査研究

- ・お囃子の会の一員として、その祭りの「起源・歴史・言い伝え・歴史上の人物との関わり等」を調査研究し結果を教えてください。それにより、お囃子をやっているメンバーの士気が上がると同時にお囃子の会のメンバー募集に役立つと思います。

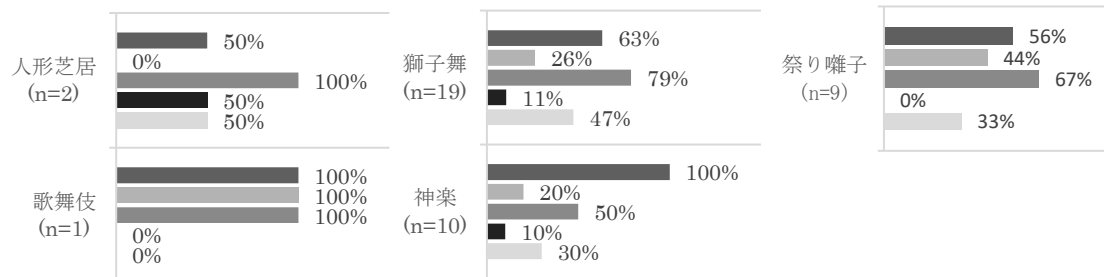
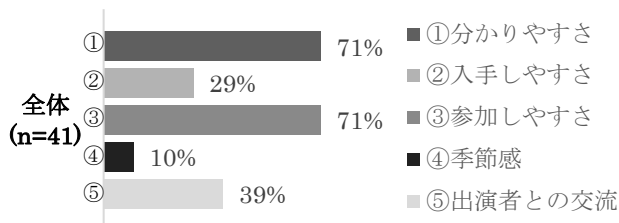
○その他

- ・祭りを実施して、楽しさを体験し知ってもらうこと。
- ・今までトラック屋台で参加してきたが、公害問題もあり、限界である。地域で屋台を集めたお祭りにしたい。

19. 情報発信の充実について(複数回答可)【調査項目 Q9-②抜粋】

情報発信を充実する際に、大切に思うことについて尋ねたところ、全体では「分かりやすさ」「参加しやすさ」71%、「出演者との交流」39%、「入手しやすさ」29%、「季節感」10%である。

情報発信の充実

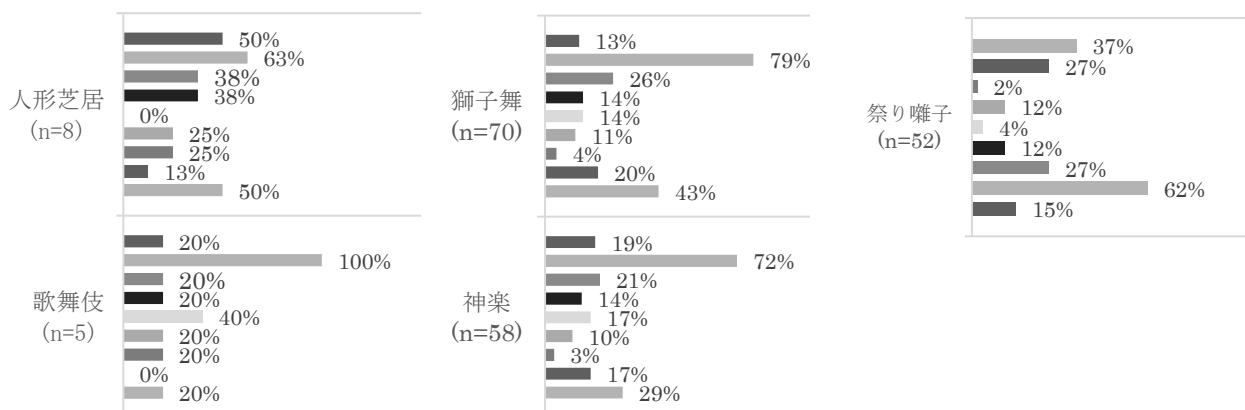
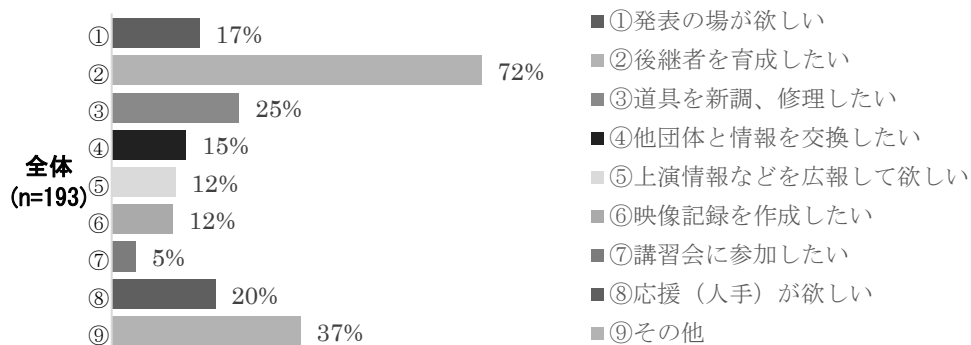


20. 今、必要とする支援について(複数回答可)【調査項目 Q10】

今、必要とする支援について、尋ねたところ、全体では「後継者を育成したい」が72%と最も高く、次いで「道具を新調、修理したい」25%、「応援（人手）が欲しい」20%、「発表の場が欲しい」17%、「他団体と情報を交換したい」15%、「上演情報などを広報して欲しい」12%、「映像記録を作成したい」12%、「講習会に参加したい」5%である。

17%、「他団体と情報を交換したい」15%、「上演情報などを広報して欲しい」「映像記録を作成したい」12%、「講習会に参加したい」5%である。

今、必要とする支援



今、必要とする支援のその他の意見は、次のとおりである。

■歌舞伎

- ・どの歌舞伎団体も高齢化し、若い人の加入が必要。舞台造りでも参加出来るよう工夫したい。

■人形芝居

○後継者の育成・確保

- ・義太夫、三味線の育成。
- ・自前の太夫や三味線奏者の育成を図りたい。
- ・伝統芸能（人形芝居）が若い人達に興味を持つ機会の不足や、団体行動として拘束される事への抵抗感などで、なかなか入って来ない。区外にも呼びかけてはいる。

○人形・衣裳

- ・文化財である人形のレプリカや衣裳を、早急に作成したい。県外業者か人形作家の養成か。
- ・人形の衣装をクリーニングしたい。

○講習会

- ・講習会、もしくはプロの文楽のDVDがほしい。

○設備の充実

- ・定期公演するための音響・照明設備や自家発電機などがほしい。

○学校教育との連携

- ・クラブ活動や親子人形芝居教室等、小中学生への働きかけをしたい。

■獅子舞

○後継者の育成・確保

- ・3年毎に地元小学校の5、6年生男子に入会してもらうが、少子化で現状3～5人程度しか児童がおらず、今後は他地域や女子の入会も考える必要がある。
- ・40、50代の後継者を確保したい。
- ・若い人が地元にはいないが、関心があれば育成したい。
- ・笛を吹く人達が高齢になってきているため、後継者の育成が急務。
- ・若手の育成は無理な面（仕事上）もあるので、現状は60代の人達を育成し今後引き継ぐ。
- ・秋祭りでの演目数を減らさないため、笛の吹き手を維持するため人手がほしい。

- ・小中学生は獅子舞を踊るが、高校生になるとやめてしまい、仕事の関係で地元に残るのが少なくなる。
- ・年代別にある程度の人数を確保しておくことが必須と思います。獅子舞の場合、舞と笛の技術を習得することが必要であり、伝承していくためには20代、30代、40代、50代と年代別に技術を持った人が必要です。

○高齢化

- ・10人の内、3人が80代以上で後継者を早急に見つけたい。
- ・後継者の育成は行いたいと思うが地元で若者が皆無の現状では継続は困難。保存会員も70、80代がほとんどで既に活動出来ない人も多く、指導する意欲も低下している。
- ・70歳前後がほとんどである。加えて指導者が81歳と全体が高齢化しており、毎年のお祭りの実施も危機的状況である。

○応援・支援者の要望

- ・継続したいが、人がいないので、支援してもらいたいが、必要性がない。継続出来る状態なら支援してもらいたいです。

○団体交流・情報交換

- ・他団体での取り組みなどの情報交換。
- ・県内の保存会との交流、発表会の企画。
- ・全体的なアドバイスをいただきたい。
- ・県内に多数の獅子舞が存在しているようですが、いつ、どこで実施されるのか問い合わせ先も含めて、一覧表を提供していただき情報交換をしたい。
- ・県内の獅子舞保存会の関係者の体験交流やシンポジウムなどをきめこまやかに実施するとよいと思われる。各地の工夫の程を知りあう情報交換の場を設定するとよいと思われる。

○費用

- ・活動費用（修理費以外の継続的な費用）。
- ・装束、道具等の新調、修理のための予算。
- ・財政的な支援（太鼓と獅子頭の修理）。

○補助・助成

- ・民間団体の補助・助成の拡大。
- ・支援制度の充実（参加者へのインセンティブなど）。

○練習場

- ・練習場が雨漏りしている。

○道具の修理・補修

- ・獅子太鼓の修理、獅子頭の修理。
- ・太鼓、獅子頭の修理。
- ・小太鼓の修理。パチで打ち鳴らすため紐が切れやすい。
- ・発注はその都度となる。業者リストがあれば助かります（県内近隣）。

○道具の新調

- ・笛吹き of 衣装を新調したい。
- ・獅子頭の羽根を新調したい。
- ・今後、子ども用の道具や衣装を揃えたい。
- ・お面が昔の小さなサイズとコロナ禍でもあり、交代するたびに使い回しをしている状態なので新調したい。

○講習会

- ・獅子舞に広く関心を持っていただくため、ホームページ作成の講習会を開催する。

○映像記録の作成

- ・郷土芸能のPR的なものではなく、舞の動作や笛の音などを詳細に記録した映像。

○関心の薄れ

- ・経験者が町内に住んでいるが集まってくれない。また、最近の町内会役員の獅子舞への関心がない。

○継承への思い

- ・未習得の舞を学び伝えたい。

○コロナ禍の影響

- ・コロナ禍の影響で発表する場が全くないのが現状です。練習する機会もほとんど無くなってしまい、習い始めた子どもが中高校生になり、参加出来なくなってしまいました。今は待つこと。
- ・コロナウイルスの影響で毎年の定例行事がことごとく中止となっており、正常に戻ることがまず先決。その上で行事に参加したい。
- ・コロナ禍で中断していた獅子舞稽古を再開したい。

■神楽

○後継者の育成・確保

- ・今は人数がいるが、全員が常に練習するわけではないので後継者の育成が課題である。
- ・後継者の確保が難しく、若者が少ない。

○高齢化

- ・舞方、笛方 of 高齢化のため若い力が欲しい。
- ・現在、会員 of 高齢化により後継者を育成していきたい。

○団体交流・情報交換

- ・後継者の育成が成功している団体の、後継者の確保方法や後継者の人数、年齢、練習方法等の情報が欲しい。

○費用

- ・財政も厳しい。

○補助・助成制度

- ・補助制度における自己負担の軽減またはなし。

○情報発信・広報

- ・県内の神社の祭典などが分かる広報。
- ・公民館だよりで広報しているが、これを市全体で取り上げるべきと思います。
- ・地域の活性化を図るため、多くの試みが各地で行われているようですが、世代間交流の活発化という観点では、地域芸能等の資源活用が効果大と考えます。一団体だけの努力に限界を感じており、行政の理解と、伴う情報発信支援態勢の工夫と活発化を期待する。

○衣装の新調

- ・古い衣装を新調したいと思っています。

○映像記録の作成

- ・今すぐ必要という程ではありませんが、可能であれば映像に残したいと思っています。

○採譜

- ・舞 of 映像記録 of 作成に取り組んでいます、お囃子の笛を楽譜に出来る先生を紹介していただきたい。神楽 of 笛は伝承に時間がかかる。音楽 of 心得のある人に作っていただき残したい。テープはあります。運指表とかも。金額は5万円前後で（14曲）。

○コロナ禍の影響

- ・三密を避けられない神楽ですので、早くコロナ禍から脱却したい。

■祭り囃子

○後継者の育成・確保

- ・まずは参加者の増員。
- ・毎年小学生を対象としたお囃子教室を実施しているが、一般の大人を募集しても参加してくれる人がいない。
- ・少子化になっていますので、行政区内の児童生徒に参加してもらえるよう対応を考えていきたい。

○引き手不足

- ・年々、祭りでの屋台の引き手が不足。
- ・もし、屋台の引き手を募集出来るルートがあるのであれば検討したいです。

○団体交流・情報交換

- ・県内のお囃子保存伝承に尽力している団体を集めて、発表や情報交換が出来ると良い。
- ・今後とも伝承しなければならない伝統芸能なので何年かに一度、映像記録を残し、歴史資料としたい。
- ・若い人達がお囃子演奏にいかに関心を持って来て参加してくれるのかを、実際に成功している団体、あるいは良いアイディアを持っている人に教えていただきたい。

○費用

- ・お祭全体の資金不足。

○補助金・助成

- ・祭り用半被の新調を支援対象にしてほしい。
- ・神社社殿の改修費用に対する支援（調査中）。山車保存庫の改修費用に対する支援（400万円）。山車装飾品改宗整備費用に対する支援（300万円）。神輿改修費用に対する支援（600万円）。祭礼行列衣裳小道具整備費用に対する支援（200万円）。

○道具・人形の新調

- ・継承が難しい笛について、多くの会員がチャレンジ出来るように笛の本数を増やしたい。
- ・山車に乗せる人形（御神像）を新調したい。

○映像作成

- ・合同での練習が難しいため、お囃子の練習映像の作成等。

○記録作成

- ・正確な動作、曲など、後々に伝承するためのもの。

○練習会場

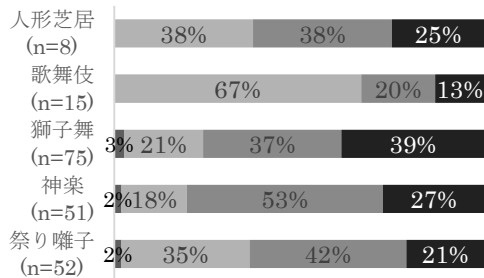
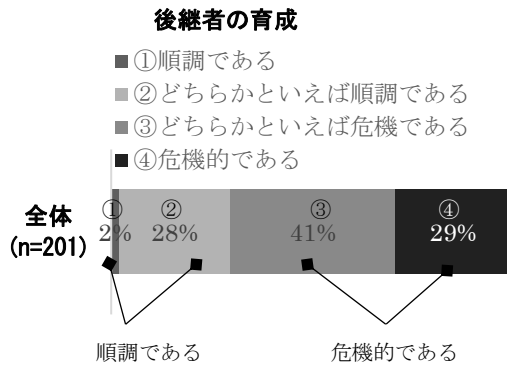
- ・練習する場所を提供してほしい。

○コロナ禍の影響

- ・お祭り等を中止にしないでほしい。
- ・コロナの収束。練習にもこれが一番。
- ・コロナ後、祭りが再開された場合、引き手が集まるのか心配しています。
- ・コロナウイルスが収束すれば、夏祭りが復活出来るので、以降は保存会で力を合わせ、継者育成に尽力していきたいと思っています。

21. 後継者の育成について【調査項目 Q11】

後継者の育成について尋ねたところ、全体では「どちらかといえば危機である」41%と最も高く、次いで「危機的である」29%、「どちらかといえば順調である」28%、「順調である」2%である。



22. 後継者育成や確保の取り組みについて(自由回答)【調査項目 Q11-②】

後継者育成や確保の、取り組みについて尋ねたところ、次の回答をいただいた。回答は、各伝統芸能団体の声を届けるべく、出来る限り原文のまま記載する。

■人形芝居

○学校教育との連携

- ・小学生への働きかけについて。指導内容は未定ですが小学校を訪問し、子どもたちにクラブへの加入希望をとってもらったことになりました。もちろん、希望者がいない場合には、クラブは成立しません。
- ・コロナ禍前は、小学校での公演PRや文化祭の公演の際、興味のある方への参加PR等行いましたが、現在は全く何もしていない状況である。
- ・地域の学校へ出向き、総合学習等の授業に取り組んでいる。授業の中で伝統芸能の魅力を知ってもらい、引き続き触れてもらい入座などを呼びかけている。古典芸能に触れることのない子ども達だが、関心を持つ子どもも多く、そういった機会を多く持つことが大事ではないか。老壮青という言葉があるが、子や孫の年代と1つのことをなす事は、お互いに刺激になり、広がりが増え、良い方向での生きがいを得ることが出来る。

○募集・勧誘

- ・会員の子や孫を勧誘する。
- ・今年度、初めて地元の集会所で公演会を開催したので、今後も地元開催を定期的に行い、座員の勧誘を進めたいと思います。
- ・機会あるごとに広報等を通じて募集を呼びかけているが希望者が出ない。
- ・座員の勧誘は進んでいません。年ごとに高齢化が進む現状です。

○太夫・三味線

- ・行政の援助を得て義太夫・三味線教室を行っている(年6~7回)
- ・太夫・三味線奏者の養成は、まったく進んでいません。県主催の「義太夫教室」では、大変お世話になりました。若手がいて、本格的に学びたいという座員が出てくればいいのですが。

■歌舞伎

○募集・勧誘

- ・後継者の確保については、自治会と協力して区と町の回覧板にて募集チラシを配布し希望者を集めています。また会員の皆さんの友人、知人の紹介もお願いしていますが、なかなか集まらないのが現状です。
- ・大人の座員（会員募集）は常に心がけて声かけしている。袴古着（新人の）は会長として用意してきた。
- ・公演を家族で見に来てほしいと声をかけている。太夫さんの話や舞台を私たちが組み立てている話等をして声をかけている。

○交流の場

- ・以前は経済的にも余裕があり、時々座員が集まって懇親会等を行い、興味ある人も仲間に入れ家族的に付き合うようになった。現在は踊るだけになり人間関係が薄くなってしまった。
- ・老人も若い人も話し合う場所が必要。

○子ども歌舞伎

- ・子ども歌舞伎の活動そのものが後継者育成となっています。しかし、子ども歌舞伎卒業後に大人の歌舞伎で続ける子が少ない。

■獅子舞

○育成会、子どもの募集（勧誘）

- ・育成会と協力しての声かけ。
- ・地域の育成会に声かけを行っている。
- ・子ども育成会を通して勧誘のチラシを配布。
- ・直接、子どもや若者に声をかけ勧誘。
- ・地区の子ども会に依頼する。
- ・自治会の回覧板でスタッフ募集。
- ・地区の中で役員や会員の知り合いに呼びかけて子どもたちの参加を募っているが難しい状況です。
- ・子ども会育成会で小学生（1～6年生）までの男女の入会募集を実施しているが、少子化状況の中で順調に確保するため、保存会としても活性化対策として入会が促進されるよう全世帯に募集のチラシを配布している。
- ・地区の獅子舞は大人が中心で行っている獅子舞であるが、秋祭りに（子ども会）を通じて5、6年生に教え一緒に奉納している。

- ・昭和60年頃より、小学生を指導し保存会として神社の秋季例大祭への奉納を行う。男子を舞方、女子を笛方として、育成会の協力を頂いている。夏休み練習会、発表会、イベントへの参加、卒業者の入会者が子どもの育成に当たっている。
- ・子ども会の役員等に参加者の勧誘をお願いしていますが、増員が出来ません。村民だけでは限界だと思いますので、県や市等の行政関係や教育関係の力が必要だと思います。
- ・お祭りで声をかけたりしているがなかなか集まらない。また、小学生に練習生として毎週水曜日に教えていたが、練習生もいなくなった。
- ・小学校低学年でカンカチとして入り、奉納や市のイベントで舞台に立ちながら、小6から中学で獅子頭を付けられる体力と技が身につく。ここ3年程、小学校低学年の子どもが入らず、中学生は高校に。今度は部活で獅子舞へ来られなくなってしまい、尻すぼみの状態である。このコロナで募集も出来ない。
- ・後継者の育成は相当に難しく、スポーツと被り、声をかけたくらいで簡単に参加してくれないのが現状です。友達関係、口コミなど様々な手段で取り組んでいます。
- ・現在、育成会と協同して行事等に参加していることから、今後とも同様に継続して行っていきたい。しかし、子どもたちは進学、就職等で地域を離れていく者が多いことから、長く継続して活動してもらうことが難しいのが現状となっています。今後、広報に努めるとともに親子教室等を開催するなど有効な手段を考えながら、後継者の育成を図っていきたいと思っています。
- ・地区の子ども達に秋祭りの前から獅子舞の練習に参加してもらい、大人達が教え本番に出演してもらいます。子ども達には獅子舞の楽しさや、やりがいを感じていると思うが、中学生以上になると部活などを理由に獅子舞から離れてしまうことが多く若手が定着しません。
- ・地元の回覧で、舞や笛等の習い手を募集しているほか会員の子どもの声かけをしている。練習を夏休み、祭り前、イベント出演前にして後継者育成に取り組んできたが、コロナの関係で2年間練習が出来ていない状況。

○地域内で募集・勧誘

- ・地域内で後継者の募集を常時行っている。
- ・地元に残る数人に声をかけて育成していきたい。
- ・区内在住者の若者に声かけし、入会者を募っているが対象となる人数が限りなく少ない。あらゆる方法で継続するしかない。
- ・地区内で生まれ育ち、現在地区外に居住している方にも声かけをし、協力を求めています。
- ・地域に若者がいないため（限界集落に近い）育成が出来ない。
- ・地域のお祭りなど子ども達が集まる場所で獅子舞や神楽舞を披露し興味をもっていただけるように努力している。
- ・地域の寄り合いの時、声かけや楽しい話をする事で人との繋がりが出来る。

○学校教育との連携

- ・小学校の授業での紹介。
- ・中学1年生対象の郷土学習「弟子入り教室」に参加し、獅子舞の太鼓、笛等を伝承している。
- ・地元小学校の協力を得て、4年生に笛の指導を10年来続けておりますが、コロナのため3年ほど出来ないでおり、これから先不安に感じております。
- ・ここ数年、春と秋の祭での獅子舞奉納にあたり、地元の小学生に（学校を通じて）案内文を配布している。これは児童に獅子舞に関心をもってもらうためである。獅子舞奉納を観覧した児童の中に後継者になろうという者が少数ながらいる。今の小学児童会員はこのようなことから加入。
- ・祭り前の練習ではゲームや参加賞を取り入れるなど楽しくする工夫を。伝統の大切さを子ども達に語り伝える。歴史も含めて。
- ・町の宝として毎年11月に小学校の3年生が1時間30分ぐらい屋外学習を行っています。内容は獅子頭他の用具を展示し獅子舞について丁寧に説明しています。また、子ども達全員から感想文とお礼の作文をいただいています。その中から獅子舞をやってみたい子どもが何名かいますので、後継者が出来ていましたが、ここ2年間はコロナのために練習も出来ず新しい希望者が出来ないため困っています。当獅子舞は小学校3年生から高校、大学生が獅子ですので、今の様に中止すると危機感があります。

- ・平成7年より私ども保存会が協力して行っている地元小学校での「体験活動授業」が原点となり、学校へもお願いして参加者を募集し、秋祭りに向けた練習を4年生より行っておりまして。毎年50人、60人の小中学生の参加がありました。また、現在保存会員に登録している若い会員は小学生の時参加した人がほとんどです。そんなことから後継者の問題について明るさが見えてきた時、コロナの問題になり、祭りは2年中止になってしまいました。この間に4年生で初めて祭りの練習に参加した児童はこの春卒業してしまい、練習に参加経験のある小学生はゼロになってしまいます。中学生の参加もありますが、部活が始まることもあり、参加人数は極端に少なくなってしまいます。再開後の練習にどれほど参加してくれるか非常に心配しています。そんな中ですが、小学校での体験活動は休むことなく継続しているので、この点で期待を捨ててはおりません。

○対象年齢の引き上げ（経験者等）

- ・どちらかといえば危機であるが、子どものとき練習した人達を説得していきたい。
- ・子どもの頃の獅子舞経験者に、成人に再度加わるよう呼びかけている。
- ・育成者となるべき経験者がほとんど地域に存在しないため、活動を披露する手段が見当たらず、地域の方々に興味を抱いてもらう術がない。
- ・踊り子が中学生、踊り子見習いが小学生で、これまで学年がそろっていたが、児童生徒の減少から学年がバラバラになるとともに、踊り子が確保出来なくなる恐れがある。現在、踊り子経験者の名簿を整理しており、高校生以上の踊り子を検討している。
- ・青年部を設け、中学生以上の方に声かけをしています。（少子化で、男女合わせて小学生3人、中学生5人です）
- ・現在は後継者育成を計画立てて行っておりません。個々の人に当たって加入依頼をしているところです。今後を考えると中学生、高校生、大学生などを誘って加入を考えていきたい。

○練習・稽古

- ・年間通して毎月2回第2土曜日、第4土曜日2時間位練習をしている。

- ・2年前まで毎週1回実施していた子ども及び保護者の稽古を早急に再開したい。
- ・獅子は、小学3年生から練習を始める。笛は、小学2年生から練習を始める（6年生まで）。
- ・平均年齢が極めて高い中、やっとのことで40歳代の後継者4人を確保したが、社会的にも中堅として活躍している年代であり、練習への参加時間が十分に取れない。
- ・現在の舞人の年齢は75歳前後であるため、練習日を平日から日曜日にした。1人は新たに確保出来ましたが、後継者は変わらず。1人体調不良が出て補充が出来ず心配です。
- ・平成30年12月から月2回の練習を現在まで休みなく続けています。参加者には指導者を含め30代後半から80歳まで約10名で活動しています（男性のみ）。今後、若い女性等の参加で盛り上げていく必要を感じています。この練習では獅子の舞もここ何回か取り入れ始めています。
- ・地元情報誌、ホームページ等で氏子以外にも募集を行っています。練習に関しては令和元年度に専門家にDVD録画（作成）していただき、その録画にて練習を実施しています（月1、2回）。それと今まで女性の参加はなかったですが、後継者不足により昨年から女性2名参加協力で練習しています。

○笛の継承者

- ・笛は、楽譜に落とせないの根気強く時間を要するが指導していく。40、50歳の吹きを2、3人増やしたい。興味ある人を探す事が大変。
- ・笛は音が出なければなりません。音の出る人を頼んで人数が多くても本番に出てもらおう。

○少子化

- ・子どもが少ない。
- ・後継者（子ども）については、子どもの減少により地域内での確保が厳しさを増している。
- ・年々、地域に子どもが少なくなっているため、その確保も取り組みも難しいです。
- ・物理的に児童数が少ないのだから、今までのしきたりや伝統では存続出来ない。よって広範囲からの募集となるとネックとなるのは練習期間にみんなが集まるとの練習が遠方からの人は困難となる。デジタルを生かしリモートも出来ると思うが、今はまだ現実的ではない。

○過疎化

- ・過疎化が進み、後継者が見つからず深刻。
- ・後継者を育成することは過疎化を防ぐことでもあります。これからも頑張ってやっていきたい。
- ・取組はするも若い人の関心が薄く、過疎地域のため困難。回覧を回して募集しているが、なかなか集まらない。

○地域外からの募集

- ・地域外からの確保も考えています。
- ・大人が中心になって保存していく体制整備が望まれます。
- ・随時加入促進に努めている。

○継承の不安・難しさ

- ・当獅子舞では40代、50代の人もいるので、順調のように思えますが、10年後、20年後のことを考えるとそう安心もしてられません。
- ・子ども達が獅子舞をやって、将来その保存活動に参加するというのは大変まれなのが実態です。（当獅子舞では、私の約30年間の経験でわずかに1名のみです）。
- ・小学生の時くらいは、休みなく練習に来ておりますが、中学生になるとクラブ活動で欠席してしまう。
- ・一保存会だけでは限界である。地域全体として後継者育成をしていかなくてはだめだと思う。

○コロナ禍の影響

- ・コロナ禍で2年全く練習出来てないのが残念。
- ・ここ2、3年は新型コロナウイルスの関係もあり小学校から社会授業の要請が無い。
- ・以前は小学校に参加を呼びかけるチラシを配ったり、地区に回覧したり、子ども会の行事の際に紹介したりしましたが、現在は新型コロナのため取り組んでいません。
- ・早くコロナが収束し、様々な活動が出来るとよいです。
- ・今はコロナ禍で練習も出来ない状況で練習を集めるのは困難な状況にあります。
- ・自治会の祭事の広報、および保存会の広報誌をもって、自治会員に周知しているが、コロナ禍では無理がある。

■神楽

○育成会

- ・地域の子ども会に協力をお願いして興味のある子を集めています。

○練習の強化

- ・コロナ禍の中、出演回数も激減しているので、教室（公民館、月2回）での強化。自宅での自己研鑽を奨励している。会員が技術を求め、後継者育成に対応出来るように取り組んでいます。
- ・ここ 4、5 年に加入した人を中心にお囃子（笛、太鼓、三種、鈴）、舞（36 座のうち現在可能なものは 13～15 座）、設営、衣装手入、着付け、舞台設定、等順次伝承するよう勉強会、練習を行っている。

○演目の習得

- ・一人一人が複数の舞を覚えてもらう。

○地域外からの応援

- ・参加者も群馬、栃木の両毛（太田、館林、邑楽郡、足利他）にまで広げ公募（小学生以上、女性等）する。見学や体験をして、決定していたっている。

○高齢化

- ・区民の高齢化が進んで若い人がいなくなっています。買物に行くのに車で 5 分、町まで 15 分かかり不便なので、便の良い市内へ出てしまう。

○過疎化

- ・地域に残っている若者を勧誘していますが、人口が減っている地域ですので、難しいです。
- ・ハッ場ダム建設に伴い、旧来の地区世帯数が 160 世帯から 40 世帯に減り、若い人達は地区外へ移転してしまった。残った住民らで会の運営を行っているが、高齢化し今後の事は暗中模索です。
- ・限界集落に近づく中で、せめて舞っている当人達が地元で結婚し、子どもに伝えてくれるよう頼んでいる。

○学校教育との連携

- ・小学校への出前授業。
- ・学校教育で地区の活動状況などを生徒に聞くなど興味を持たせる。

○関心の薄れ

- ・今時の若い人たちは興味ないようです。
- ・座員が個々に若者に声かけをしているが、今の若者は興味を示さない。

- ・神楽に対して興味が無い、古事記の時代、歴史教育が無い、意味が理解出来ない。このような事が影響していると思う。
- ・今までは地区内（氏子）の家、特に地元の長男が後継者として引き継いできたが、大多数の舞師が年を取ってきている。外部からとも考えられるが、人間関係等もあり、問題もありそうです。しかし保存する上では誰かれとも言っていられないが難しい。

○継承の不安・難しさ

- ・知人、友人を頼りに関心のある方を探している。
- ・年齢の若い人が増える可能性なし。
- ・若い方や中年に日頃から声をかけているが、いい返事は頂けていない。
- ・町内小学校で出前授業や会員の知り合いの方を募集しています。
- ・何度か募集のチラシを回覧したが、ほとんど反応がなかった。
- ・地区内だけでは難しい。地区外の人でもよいと思っています。
- ・10 年に一度、舞子（10 名）が交代しているが次の時（7 年後）舞子の確保が難しいと思われる。
- ・色々やったがじり貧です。うまくいかない。
- ・後継者の確保に努めているが入会されない。
- ・氏子内の紹介や推薦を行っている。
- ・現存、後継者の育成は出来ているが、次の代の後継者を育成したいと考えています。
- ・会員の後輩に里神楽の魅力など話をして入会してくれるように努めている。
- ・地元同志会（20～40 歳）、勇志会（40～60 歳）という男性組織があり、後継者はすべて会員か出身者。これらの会から声かけをして誘っている。しかし、専業農家が少なくなり、後継者確保が難しくなっている。
- ・親世代から関心のある子や孫を紹介してもらい、加入、参加を呼びかけている。一般的には敷居が高く思われがちのため、例祭や地域のイベント等で呼びかけ後継者確保に努めるが、今一つ。
- ・現在は会員の平均年齢も高くなり、後継者問題は以前から悩んでいました。今では現会員の知り合いや紹介等、狭い範囲での新会員探しでした。今後はこの方法を変えていく必要があると考えています。

- ・自治会、町内各種団体に随時問題提起し、後継者育成について持ちかけてはいるが、思うように進んでいない現状です。また、地域外からも賛同者を募るよう活動を開始しようとしています。
- ・世代交代が図られつつあり、新たな取り組みへの提案を受容する雰囲気づくりの確保を重要視している。
- ・保存会発足当初は地元町内会の長男を対象としていました。その後年月が経つにつれて条件は徐々に変わり、現在では地元出身者ならば在住でなくても会員になっています。
- ・長い間、地内の人たちにより伝承されてきたが、高齢化となり継続が危機的な状況となり、平成20年2月に保存会を立直し、範囲を広げ募集を図った結果、50、60代の5人が入会し、その後も前橋市内広域から数名が入り活動は安定したが、その後募集するも入会者なし。数年後（3～5年）には会員の高齢化が進み存続の危機を迎える可能性が高い。例大祭奉納時に同時に小中学生の武道大会が開催され、また公民館こども教室、中学校文化祭等より子ども達が神楽に接する機会も作っているが関心は今一つ。今後も続けたい。
- ・氏子祭りで伊勢町祇園祭に担い手として活躍する若者から後継者を募っている。当会は、祇園祭での八木節、雅楽などで若者と関わることが多い。祭りに関わる会員も多数在籍していることから、やる気がある後継者候補が入会しやすい環境である。

○コロナ禍の影響

- ・コロナウイルス感染症が収束しなければ何も出来ない。
- ・多くの人に観て頂くことで、伝承者の私たちも張り合いがあり観ている人の中に自分もやってみようかと考えてくれる人が出てくれる事を期待して、神楽奉納のチラシを市内全戸回覧、地区には全戸配布の活動をしてきました。同時に神楽、解説もわかるようにしてきました。春祭りにはフリーマーケットも開催して、人集め、後継者探し（育成には遠い）を行ってきました。コロナで全て考え直す必要が生じました。

■祭り囃子

○育成会との連携

- ・子供育成会を通じて情報を提供する。
- ・子供会からも子どもへの呼びかけを協力してもらっている。
- ・毎年、子供会育成会の協力を得て、小学生にお囃子を教えているが、保存会員にいたる人はほとんどいない。保存会員も高齢化しており若い保存会員を増やしたい。30代以下の13人は社会人となってからはお祭り当日のみの参加で練習には参加していない。
- ・最大の後継者育成と確保は、地域の祭の屋台で演奏するため、子供育成会と連携して行う小学生への指導です。これがこの2年間、コロナ禍のため出来ませんでした。それと基本的には週4回の練習も出来ませんでした。道具の修理や衣装の揃えなど、出来ることはやってきましたが、練習が出来ていません。唯一出来たのが、小学校での放課後子供教室での指導です。他町内の子どもにも教えられ、可能性に富む事業だとは思いますが、令和3年度は中止となりました。
- ・地区育成会と協力して事業を行っています。
- ・夏祭りの前に子供会と連携して、練習を実施している。世帯数は増えている（新築が多い）が、子供会には入らず、また地区の行事に無関心な世帯が増えており、子どもの参加人数は減っている。保存会の会則を変更して小学生から入会出来るようにしたり、中学生会員の練習日を設けたりして育成に取り組んでいる。
- ・子供育成会と協力して、多くの子ども達に参加してもらってお囃子の楽しさ、仲間作り、地域に伝統的なお祭りがあることを知ってもらえば有り難い。それが継承活動であり、後継者づくりの一つと考えている。

○子ども

- ・村の子どもも少ないため、小学校3、4年生の自宅に訪問し囃子練習への参加を呼びかける。
- ・子ども達に教えても小学校卒業後は出てこなくなってしまう。
- ・子どもたちや初心者にやさしいお囃子に、魅力を感じてもらえるような指導や運営を心がけています。

- ・小学生は、とにかく楽しくお囃子を演奏出来るような環境づくり（ほめる指導、個々のスキルに合わせた指導、マナー化させない、わくわくさせる）。中学生、高校生は、責任感を少しでも持たせる機会づくり（小学生への指導を手伝ってもらい、小学生の憧れとなるような見せ場づくり。大人たちが保存会運営についての相談、検討している場にも参加してもらう等）。
- ・単にお囃子を演奏するために集まるのではなく、人間力を磨ける貴重な場となるように心がけています。学校や塾では学べない、幅広い年齢層との関わり合いを経験することで、大人になったときに少しでも他の人よりもアドバンテージが出てくれればという思いで接しています。

○学校教育との連携

- ・小学校での放課後太鼓練習活動（クラブ活動）。
- ・小学校での授業（祭りの起源、由来、お囃子曲名、屋台の制作等）。

○練習

- ・一年を通した地元コミュニティでのお囃子練習。
- ・小学生は太鼓の練習。中学生は笛の練習を始める。
- ・現会員（指導者）にお願いして会員外の人に練習風景など見てもらいます。
- ・毎年7月「子供屋台囃子教室」を実施している（全18日間）。土・日・祭日を除いて、19時から20時まで保存会員が子ども達に指導。20時から21時まで保存会員の技術向上の練習と新会員の指導、練習をしている。
- ・祇園祭に参加し活動する構成員で役割分担を決め、お囃子の練習会を実施し、伝承出来る者を育成している。

○笛奏者の育成

- ・今後、横笛の奏者の育成に力を入れたい。

○少子化

- ・少子化によりお囃子の要員不足ならびに育成会廃会により招集が困難。
- ・後継者の絶対数がないため、確保が難しい。

○継承の不安・難しさ

- ・町内以外の若い人に参加出来ればと思う。
- ・高校を卒業すると県外に行ってしまう人がほとんどなので、地元に残る人には当会への入会をお願いしています。

- ・何はともあれ人材がほしい。
- ・決して順調とは言えないが、少しずつではありますが、若い人にも参加を呼びかけています。
- ・新規転入者にいかに文化財の重要性を理解してもらい、練習や祭りに大勢参加してもらうか。
- ・若連会を発足したので、この会を通じて育成確保する。
- ・大人会員は高齢化し減る一方です。若い新会員が入ってこない、村に若者が少ない、そのため囃子練習に来る親を会員加入にすすめるが、なかなか加入者はいない。
- ・規模や人数が小さく少なくなったとしても続けていくことが最大の育成と考える。決して人数を増やすことなく、1人、2人の育成が将来の伝承につながると思う。
- ・イベント前の20日位をお囃子の練習をしています。指導者は2、3人で練習者は小学生、園児です。子ども達は一生懸命で習得も早く大変よいのですが、中学生になると参加しなくなってやめてしまいます。従って後に指導者になってくれるという好循環は生まれていません。よってこれからは大人に参加を促し、指導者を育成していく事が課題だと思っています。
- ・自治会活動、お祭り、町内広報誌等の機会がある時に宣伝、勧誘等を行っているが集まらない。昨年は1人加入し現在は10人だが、高齢化している。コロナ感染でここ2年祭り中止にて、練習は保存会員のみ、子ども達へ伝える機会がなく困っている。
- ・従来は氏子のみを対象としていましたが、今は町外の親戚や友人、お祭りに協力的な人など幅広く受け入れる。

○情報発信

- ・イベント情報にYouTubeやFacebookを活用。

○YouTube・動画

- ・独自の動画教材を製作中。
- ・単にお囃子の曲を演奏した動画ではなく、各楽器、譜面付き編集で分かりやすくし、ワンポイントアドバイス集として、保存会がこれまで培ってきたカンやコツの技術を解説したコンテンツも作成して、会員のみでYouTubeにて限定配信しています。

○新たな取り組み

- ・今若連では中学生を対象に地域貢献活動として、祇園祭維持継承のため、保存会の協力を得て、歴史、お囃子の継承を行っている。なお証明書を発行し、受験等に活用出来るように校長先生等をお願いしているところです。
- ・城下町天王祭礼行列の復元。記録によれば、江戸時代延宝年間より城主天覧の祭りとして賑わった天王祭の祭礼行列を復興したいと考えている。神輿—先達（山伏・天狗）—獅子—祭礼奉行—神主—町役員—稚児・神輿—山車—後見の祭礼行列が記録されている。
- ・城下町天王祭「神輿囃子」保存会の設立。祭礼行列のうち山車と神輿のお囃子として「神輿囃子」を近年再編した。令和2年度県ふるさと伝統文化支援事業補助金にて「囃子方衣裳」を整備したので、今後保存会として「子どもから大人まで」地域の伝統文化財産に位置づけるため「保存会」を組織したいと考えており、令和4年度では「子ども伝承教室」の開催を計画している。

○コロナ禍の影響

- ・保存会では大人の会員と子供育成会（小学生）が中心となり、稽古に励んでおりますが小学生については出入りが激しい。この2年間は新型コロナウイルス感染拡大により主な行事がすべて中止となり、稽古も出来なかった。
- ・コロナの前は毎年育成会の協力を得て夏休み前から練習を実施していましたが、2年ほど休み残念です。コロナが収束したら再度実施したい。
- ・保存会で篠笛教室を開いているが、現状ではコロナ禍で練習が出来ていない。
- ・コロナ前は、夏の祇園祭りに合わせ育成会と連携し、地区の会館で5月に顔合わせバーベキュー。6月から小学生と保存会で合同練習を継続していました。コロナ後は、この活動を再開予定です。
- ・例年、まつりに向けて、7月より1ヶ月半、子ども達（小1～中3）に、週3回練習を教えているのですが、ここ2年それが途絶えて空白の2年間になっています。一刻も早く、コロナが収束し練習が再開し、子ども達にお囃子の楽しさを教えてやりたいと考えています。とにかく、子ども達にお囃子を、祭りの楽しさを体験してもらえれば、後継者育成は必ず出来ると思います。

- ・小学生を中心に指導したいと思いますが、人が集まらず困っています。早くコロナが収束して子ども達が安心して練習に参加出来るようになれば良いと思っています。今の段階では親の方が心配して出してくれません。

23. 継承活動の課題や要望について(自由回答)【調査項目 Q12】

継承活動に取り組むにあたり、感じている課題や要望について尋ねたところ、次の回答をいただいた。各伝統芸能団体の声を届けるべく、出来る限り原文のまま記載している。

■歌舞伎

○高齢化

- ・我々がやっている地芝居（歌舞伎）は、舞台作りから公演が終わるまでに人が多く必要です。現状は、会員の高齢化が進み参加出来ない人が多く、役者や裏方の人数が足りていません。今年、来年公演が出来るか本当に心配しています。
- ・今、私自身が高齢化（83歳）となり、ここ15年間取り組んできて、今後は後継者をお願いする時となった。拙い会長を支えて頂き感謝します。感謝したいことは財政支援や皆様の温かい支援、労を惜しまぬ活動。笑顔と励ましの言葉。長い間ありがとうございました。

○後継者の育成・確保

- ・中学生になると部活中心となり、参加が無理になってしまう。
- ・会員の育成について、これが一番の問題で新人さんと初めての舞台練習を始めると、あまりの難しさに驚き、これでは私にはとても出来ません、となってしまい辞めてしまいます。これは練習方法が問題なのか、先輩たちの教え方が今の人たちに合わないのか、役者は言葉も動きもあり、とても難しいので簡単にいきません。

○指導者

- ・以前は子どもの練習に大人の歌舞伎の方も参加してくれていたが、今は誰も来ない。完全に別々になっている。もっと連携して行かないとスムーズに移行していかないが、なかなか難しい。大人の歌舞伎の方には、自分が演じているだけでなく、後継者育成は他人まかせになっている。もっと本気になってほしい。

○道具の管理・保管

- ・歌舞伎は舞台や大道具等が必要。しかし各団体持ちで維持する事は無理だと思う。行政で守っていかないと消滅してしまう。

■人形芝居

○後継者の育成・確保

- ・中学生や高校生の取り組みを考えたい。
- ・後継者の育成は、稼業のため仕事が忙しい。
- ・会員の高齢化が進んでいるので、30代以下の若年層を取り込みたい。
- ・高齢化と座員の減少で三味線、義太夫の継承が困難になっている。
- ・ひと昔前のように、地域に青年団と言った組織があった時代には、地域住民による民俗芸能も活発に行われてきたが、人口減少や超高齢化社会の現在の田舎で何かを継承していくことは極めて難しいと感じられる。理想としては、地域住民による公演などの活動を通じて地域活性化に繋がっていければ最高であるが、現状ではとても望める状況にない。コロナ禍後、公演を再開出来れば一日でも長く存続を続けていき、民俗芸能に対して熱く思う人が会に参加してくれることを願っています。

○指導者

- ・伝統的な所作や演技指導を出来る人がほとんどいなくなったので、今後どうしたら向上していけるのか不安です。今は歌舞伎から学んでいます。かつて演じていた弁慶上使等の演目を、自分たちも上演出来るよう、学んでいきたい。（現在、上演出来る演目は3つです）。

○要望

- ・小中学生が練習に使う人形や衣裳を、自分たちで制作出来ればと思います。また、実際に制作に挑戦している会員や準会員がいるので、材料や衣裳の型紙、人形の仕組みの図面、制作手順や技術等、少しでも教えてもらえる機会があればと思います。
- ・国、県、市のありがたい応援をいただき、後継者も育ち継承問題が順調である。しかし確実な伝統芸能の継承には不安な部分も多々あり、危惧する面も多い。まずは後継者の確保である。数名の子どもが入座する年もあれば、まったく不在の年も多い。コンスタントに1、2名の児童を迎えたい。そのためには学校への訪問授業を重ねたい。伝統芸能子ども教室の事業を是非続けて

欲しい。人形の頭や小道具類の修理や修復への助成金の措置もお願いしたい。講演等、発表の場を増やすなど様々な工夫が必要と思う。

■獅子舞

○後継者の育成・確保

- ・ 継承出来るよう取り組むしかない。
- ・ 後継者の育成や、指導者の育成が非常に大変。
- ・ 今は私が代表ですが、次に代わる方が見つからず、困っています。
- ・ 後継者の確保が一番の課題であると思います。あらゆる機会を通じて人を確保していくくらいしか思いつかないのが現状です。
- ・ 過去も現在も小学生を中心として後継者育成に取り組んできたが、子ども達は中学に進学すると部活、学習塾に追われて練習に来なくなる。そんなことの繰り返しでなかなか後継者が育たない。
- ・ 小学校を卒業すると部活や勉強面を優先して辞める。笛の吹き手、スタッフとして加入していた若い人が仕事を理由にして辞める。
- ・ 子どもを預けてくれる親が公会堂の送迎を負担に感じているのではないか。
- ・ せっかく入ってくれた子どもが、高学年になると、スポーツ少年団や習い事で辞める。
- ・ 獅子舞を経験した若者達に戻ってもらえない。
- ・ 勤労者は会社の仕事が優先のため、練習日を決めても練習に参加出来ない事が多い。
- ・ 少子化にて主となる舞子、中学生、小学生が少なくなり大人に頼んだりしている。他の役者も高齢になり、引退され、継承者が少ない所なんとか、伝統を保存していかなければと思うところです。学業や部活動に支障をきたさないよう練習、行事参加、公演の日程調整に気配りしている。当獅子舞の伝統芸能を継承していくには地域住民とりわけ親の協力、支援は欠かせない。
- ・ 現在の師匠達も 40 歳代でその下が育っていないのでこのままでは絶えてしまう。過去に習った子を再度募集したくても地元に残っている者がいないのが現状。20 歳代で地元にいる人を発掘していかなければと感じる。
- ・ 若者の入会が直近の課題であるが、交渉対象者が極めて限られている。
- ・ 今までは地区内、氏子内より選んでいたが、神楽師も高齢となり維持することが難しくなった。また、学生に協力を求めても、進学や県外に就職し、後継者として残らない。
- ・ 若者は高校を卒業すると、大学や就職で都会へ出てしまう。若者が地元に残るケースが少なく、後継者が困難。
- ・ 後継者を考えるとき、先ず子どもの参加を促す取組をするべきと考えます。私どもの保存会員の若い会員はほとんど子どもの時参加した人です。子どもに参加してもらうには第一に「練習に参加するのは楽しい」という雰囲気をつくること、それに「格式」とか「伝統」などの言葉は子どもにとってあまり魅力にはならないと思います。とはいえ、当保存会も高齢化が進み、若い会員の参加もここ何年かありません。このことについては早急に対処する必要があると感じています。

○高齢化

- ・ 活動の中心メンバーが高齢化している。
- ・ 若手が流出してしまう田舎では人出の確保が出来ないことや、高齢化も相まって継承意識の低下が心配です。
- ・ 保存会員の人数不足、高齢化で練習を回すのがやっと。会員を増やす工夫が必要です。
- ・ 会員の高齢化が進んでいることから、後継者を集めるための情報発信等、その他有効な方法を考えていく必要がある。
- ・ 獅子舞の舞方は画像をみて真似するのは難しく、踊りにストーリーがあることを感じて、理解して踊る必要があり、生での指導が好ましい。しかし、後継者の高齢化により、活動するメンバーが減少する一方である。
- ・ 会員が非常に高齢化している。そのような中、踊り手の師匠が急逝し、指導者不在になりつつあり、かつてのビデオなどを頼りに細々と練習している。

○指導者

- ・ 現在の役員は子どもの時からの技術のため何でも教えられるが、その技術を後輩にどのように伝承するか苦慮している。
- ・ カンカチの子ども達の定期的な練習に対して、塾やクラブ活動が優先となり人材が集まらない。

- ・笛の奏者を育成する人材がいない。
- ・指導者「獅子、棒（太刀）、笛」の育成と確保が急務。子ども達の参加取組を昭和 57 年から実施して令和 3 年で 39 年となります。その間、地域内で多数の子ども達が育って大人となっています。この中から指導者として育成していく考え方ですが、その多くは地域内に居住する現状にあり、残された地域内居住者に参加を呼びかけていますが、仕事上などの理由からなかなか良い返事が頂けないのが現状です。引き続き指導者への参加をしていただくよう努力していきます。

○費用・財政支援

- ・地元の若者は関心が無いようである。獅子組、活動費の捻出が大変。
- ・継承活動にあたっては、備品類や装束等の維持管理にある程度の費用が必要となっている。
- ・太鼓や獅子頭の修理のための財政的支援があると良いです。
- ・発表会参加や練習のための笛の購入や、譜面作成費などの支援を頂けるとありがたいです。
- ・保存活動での支援事業の補助でも費用が先に必要であり、その確保が大変。

○少子化

- ・下仁田町馬山地区で現存する獅子舞 4 つの一つにあたります。昔は馬山神社まで各地区の獅子舞が出向いたそうですが現在では各地区で開催しています。地区に新しく入ってくる人（家を継ぐ人）が 1 件もなく現状では継承は無理です。あと 10 年は持たないと思います。ずっと続いてきた物が、私たちの時代で半分になってしまうのはとても残念ですが仕方ありません。行政の面ですが、下仁田でもっと人口を増やす事をしない限り各地区でも同様、流れが変わってこないと思います。

○地域（自治会）との関係

- ・獅子舞に対する地域の関心が低く、保存会への協力が受けられないため、活動が出来なくなっている。地域の獅子舞なので協力して欲しい。
- ・伝統を継承していく上で後継者の育成と地域の理解が必要。どの地区にも子ども達が少なくなっているのので、要請をお願いするのが難しい状態です。

- ・生活習慣の激変や少子高齢化、生業の激務や伝統文化継承の希薄により、活動発表や練習の減少とともに子どもたちの興味の希薄により、今後の後継者づくりが更に深刻にならないよう自治会等に協力依頼していきたいので、新型コロナウイルス感染症の早期収束を願っています。
- ・獅子舞は区長管理であり中止が続くと区長の意識が希薄になる恐れあり。区長の意識の低下。
- ・地域他からの転入者との交流が少なく、接点がありませんが、どのように新たに子どもや保護者を勧誘したらいいのでしょうか。
- ・町内の役員が獅子舞に興味が無く町の宝という意識がありません。趣味でやっているのだろうくらいしか思っていない。大変悲しい。なんとかなくては獅子舞は、終わってしまいます。

○学校連携

- ・学校教育の中に取り入れてもらうのもよいと思われます。ただし、保存会の負担も相当なものである、その点についての配慮が必要だと思います。
- ・後継者育成については、毎週土曜日 PM7:00 から、2 名の指導員にお願いして実施しておりますが、現在ではコロナ禍のため隔週にしたり、休んだりしておりますが、とにかく子ども達が集まってくれないのが悩みの種です。昨今は学校ではスポーツ、そのほか指導者が付いて熱心に指導が行われているようですが、この地域に在る伝統文化の継承部分が、学校教育から忘れられていると思います。地域だけで継承してゆくには難しく思います。従って、私が思いますのは、小学校の校長会等に申し入れて、この継承の重要性を理解していただいて、学校内に他の部活同様の対応をお願いしたらどうかと思います。実は私たちの獅子舞では、学校内で演舞を見せてから、当時の女性校長先生が力を入れてくださいます。多くの小学生が地区外からも練習に来てくれた経過もありました。私はこの事が後継者育成に一番の近道だと思っています。

○マスコミ（報道）

- ・NHKや群馬テレビ、上毛新聞などに取り上げてもらえば、反響は大きく、伝統芸能の維持・継承に役立つと思われる。今後、広く伝統芸能を発信することは大事だと思う。

- ・要望として各地で行われている獅子舞の紹介を群テレ等で流して欲しい。
- ・群馬テレビやNHK前橋放送局と県民向けの獅子舞番組を作成し放送していただくと継承活動の励みになる。
- ・獅子舞は神事であるが、怖いかぶり物をして踊るという娯楽的要素も多分にある（昔は更にそうだった）。演者からはやはり沢山の見物客がいるとうれしくなる。いろいろ宣伝して欲しいです。

○発表の場

- ・発表の場を頂けるとありがたいです。
- ・公開演舞の機会がもっとあってほしい（文化会館等の施設で）。

○専門家の講演

- ・長年獅子舞に携わっておりますが、理解出来ない事が多々あります。専門家先生方の講演会の開催を是非お願い致します。

○伝統芸能への意識

- ・伝統芸能保存の重要性について、県民が理解するというのがまず現状でしょう（財政的応援が必要なので）。その面ではPRが重要だと思います。
- ・取り組みに参加する人は、地域の宝と感じ活動しているが、好き者の集まりである様な目で見える人も多く感じる。
- ・昔は子ども獅子もあったが、今は部活や勉強で難しい。魅力もないのかなあと感じてしまいます。

○継承への思い

- ・今後も地域伝統文化の維持、伝承のため会員一同努力しますので、よろしくお願いいたします。
- ・保存会員が減っている現状、これから先維持する事が大変になると思う。伝統ある獅子舞なので、地区の皆さんの協力をなおいながら継承活動に取り組んでいきたい。
- ・神社への尊崇が薄れており、祭り時の取組も情性に感じます。獅子舞はもともと神社に付いている芸能であるので、流れは神社で決まってしまう。獅子舞を一つの芸能として立てるようにしていきたい。
- ・昨年 3 月に藤岡市が開催した地域のフェスティバルにて短時間ではありますが、取り組みや課題等を発表させていただきました。獅子が地域の寺から村に託されたのが元治 2 年と歴史のある

ものであり、今後も少しでも長く引き継げればと思います。そのためには、一人でも多くの活動が出来る仲間が増やせればと考え、少しずつ努力して行きたいと思っています。

○継承の工夫

- ・継承活動にあたり、カタカナで表記されている楽符を、声から音階におとして 5 線譜で表し、誰でもわかりやすいよう工夫している。

○その他

- ・私見ですが地域に根ざした祭りでありますので他の人々を入れても地域活動になるのか疑問。
- ・県とのパイプがあればよい。つながりがあれば、何かの時に役に立つのではないかと思う。
- ・事業団が補助事業を実施し、県内の公立公民館に補助の計画と補助金を提供していただくとよい。地域の社会教育活動として、また青少年の健全育成の 1 つとして獅子舞を育成することはよい。地元小学校に獅子舞参加を促すときに、伝統文化の継承をあわせて青少年の健全育成でもあると申し上げている。

○コロナ禍の影響

- ・色々な取り組みを考えていたのだが、このコロナのおかげで全部ダメになってしまった。
- ・このコロナの騒ぎが終わらないとどうにもならない。
- ・最近新型コロナウイルスの影響を受け、お祭りもそのための練習も出来ない状況にあり、色々な意味で苦慮している。
- ・コロナの収束を願うだけ。身動きがとれない。

■神楽

○後継者育成・確保

- ・舞子の確保。
- ・若い人がいない。
- ・後継者の後継者を見つけない。
- ・現在の保存会員の後継者育成の意識改革。継承者希望への指導が可能か？
- ・子ども、若者に祭りの楽しさを体感させつつ、後継者に名乗りを上げてもらえるように取り組みたい。
- ・継承希望者の確保。現会員の平均年齢が 68 歳と高齢で会員の補充ではなく交代。15 名程度必要です。

- ・伝承の危機を共通の課題と認識し、後援体制の強化とネットワークの拡大を図り後継者の確保と育成に力を尽くし、完全の形で次世代に送りたいと考える。
- ・小学校で習った子ども達が、中学校、高校と進むにつれ、勉強、部活等により中断となっている。その後も地元に残ることが少なく、30代以上の7、8人で継続しているが、今後は更に厳しくなってくる。
- ・現在は、氏子により継承にこだわっているが、年々難しくなってきた。広く公募しなければならない時期も、そう遠くないかもしれない。
- ・山に囲まれた地域で、若年層が少なくなっています。今までのような会員確保の方法では限界を感じています。これからは町全体からの公募、もしくは桐生市を対象とした公募を行う必要があるかもしれません。
- ・今後の継承活動を考えると、やはり人口減少、担い手不足により、継承が難しくなることも考えなければならない。末永く伝えていくために計画的に継承に携わる若年層を確保していかなければならないと感じる。
- ・神楽は他の伝統芸能に比較し、なじみが薄く取っつきにくいところがあり、会員の親族等に照会しても新たに会員となる人はゼロである。これと言った妙案がないのが現状である
- ・神社の総代会にもたえず呼びかけているが、口ばかりで実績は0である。今までは神社の地元の青壮年会に声をかけて集めてきたが、何か別の方法を考えたいと思っている。

○高齢化

- ・高齢化による舞手の不足で演じられない演目が増加傾向にある。
- ・自身が高齢となり、体力的、精神的につらくなった。若年者が居れば（自発的協力者）。
- ・令和9年は神楽発祥以来300年の記念の年（途中中断あり）であり、これを機に地域の機運を盛り上げたい。その事業も考えられるが、保存会長（神社宮司）も高齢であり、対応出来るか不安です。

○費用

- ・衣装が高くて修理して使っている。お金がかかりすぎて大変である。

○発表の機会

- ・各団体の活動が活性化するように発表と交流の場の提供と情報の拡散をお願いしたい。

○学校教育との連携

- ・後日、神楽芸能のお神酒について県内の条例を踏まえ、助言をいただけたら幸いです。この1月に48時間の体験で小学校の先生から提言あり、困惑しています。

○意識の薄れ

- ・興味を持つ人が少ない（いない）。
- ・神楽等にあまり関心がないようです。
- ・今の人達は祭り神楽など興味がない人が多い。
- ・地域内での郷土芸能に対する理解度が低下しており、活動に支障が生じている。
- ・地区の若い人に伝統芸能（里神楽）の話をして興味をもってもらえない。

○神社（氏子）

- ・郷土芸能であるが、神社が活動の主体となっているため、行政との協調が難しい。
- ・神社と氏子の関係を地域に発信していかないと神社自体の存続が難しくなります。
- ・以前は神社氏子が行っていたが、宗教に対する意見もあり、区が中心となり全戸を対象に変更したところ、奉納金の集まりが順調になり運営がスムーズになった。
- ・神楽は氏神様と切っても切れない関係にある。団体のメンバーを市内全域に求めたとしても祭りの中で近所の大人たちに見られ、かけ声をかけられて舞う状況がなければやがてはやめてしまう。そんな中で似たような環境にある南牧村のイベントに参加し、地元の年配者に大変喜んでもらったことがあった。15年程も前のことではあるが、太々神楽を楽しんでくれる人たちの前で舞うことがモチベーションの維持に大事であり、発表会のような所で10回舞うよりも、近隣の祭りやイベントで1回舞う方に意味があるように思う。

○継承への思い

- ・演じないことによる所作の忘れが心配。
- ・伝統芸能として残せる可能性がある。
- ・コロナで2年神楽が中止になりました。地区にとって100年以上続く文化であり、是非今年はやりたいと思っています。

- ・観覧に来るのは年よりと子ども。多くの人は観覧に来ない。
- ・文化財としての意義を住民に理解してもらい、地区内から盛り上がる政策があればと思う。
- ・舞などは一連の流れを早く覚えてもらうために細い動作を後回しにするので、一つの舞を覚え終わった後に道具の扱い方等の修正がきかないことがあります。全て最初から細かい指導をすると付いてこられず、嫌になってやめてしまいます。
- ・継承活動とは、多くの会員を集め、練習、そして発表、反省を繰り返す。このプロセスが継承活動に大切です。このマインドが全体の輪となり、継承へとつながっていくものと思い、取り組んでいます。
- ・祭り前の練習、公演出場の依頼などがあれば、会員は、練習は大変だけれど、それに向けて都合をつけ練習に参加してもらえる。そして練習すれば自ずとワザを覚えることができ、後世に残せると思う。
- ・伝統芸能の大切さを親、学校で教えてもらいたい。逆に子どもが活動したくても親の反対がある。勉強優先など。
- ・現在の活動を更に充実させたいのでコロナの感染が収まって、早く活動する事を心待ちにしている。今年の4月の祭典で全体の演目をビデオカメラに収録の予定です。
- ・今いる人たちで出来るだけ長く保存して続けて欲しい。区民の世帯数が少なく、道具、衣装のお金がかかるため大事に使っています。
- ・昔から受け継がれてきた伝統文化は地元住民の中で継承していく考えです。後継者の確保等課題もありますが、現状の人員を保ちながら若者の加入育成を進めて行こうと思います。地域伝統芸能だけでなく、地域のほかの活動などもあわせて取り組んで行こうと思います。
- ・私の神社では、東京大学へ進学している方がおりました。その方は練習もよくしておりました。今年は卒業、就職のため、土日しかこられなくなりました。10月の祭典には（土、日）ですので、来てくれると思います。先ず4月の祭典に神楽と相談してみることになっております。お囃子くらはしたいと思っています。

- ・近年まで氏子、住民がお祭りや神楽等は大切な行事、文化として守ってきたが、過疎化が進み仕事の多業化が進み生活環境が異なる今日では、後継者確保が困難となってきた。地域全体での維持、継承から保存会を作り継承する事になり神社関係者等の関わり方に変化が出てきた。保存会は任意団体であり、趣味のサークル的扱いかなと感じる事が多くなった。
- ・「女はダメ、子どもだって…」などの経緯があったにせよ、「祭りはこの日に決まっているのだから…」等で、昔からの慣例が継承活動への大きな障害ともなってきました。生活環境の変化やレジャーの多様化を背景として、住民の価値観が大きく変わってきています。継承、保全に対しても柔軟な発想のもとに対応させていく勇氣と努力が求められていると感じます。世代を問わず地域芸能に対する活性化へのニーズは、根底では住民の潜在意識があるので、もう一步踏み出させる試みの提案や動機付けが求められています。なにもかも行政に頼る気持ちはありませんが、地域づくりの有効な手段とも言える地域資源としての課題や危機感について、行政サイドと共有したいものです。

○継承の工夫

- ・練習へのビデオ活用。舞、囃子（全体、太鼓だけでなく、笛と太鼓同時等）これを行ったことで、短期間で習得出来るようになった。
- ・舞や笛、太鼓等、個々の説明書の作成。舞は文字と映像で、他は譜面と映像。但し、譜面は5線譜でなく昔からのカタカナがよさそう。更に、笛は穴の塞ぎを絵にしたものが良い。

○コロナ禍の影響

- ・コロナ禍による祭例の中止、縮小実施のため、町内の関心が薄れつつあり、また会員のモチベーションも下がりつつある。この状態が長引くとさらに衰退が早まる恐れがある。いかに最低限の伝承を維持しつつ、次代へ繋げていけるか不安である。

■祭り囃子

○後継者の育成・確保

- ・囃子練習に子ども達が参加しなくなってしまう事が心配。

- ・高学年の子どもたちは、習い事等が多くなるので、参加者が少なくなること。
- ・練習場所まで、親が送ってこないと練習に参加出来ないので参加者が少なくなること。
- ・子ども達に教えても、ほとんどが町外に流出してしまいます。少子化と過疎化、高齢化の三重の問題で根深いものがあります。
- ・祭りが出来るようになり、その準備のために練習が再開されれば、様々な手が打てるようになると思います。まず、子ども会育成会と連携して、毎年小学1年生を迎え、小学生の中に大きな核を作る。さらに、中学生、高校生になっても継続する仲間作りをすること。また、各年代に応じたチームを作り、統合方法を考える。
- ・集落センターを利用している。太鼓、笛の音で近所の人に騒音にならないよう注意し、短時間で実行しています。育成会については学業の妨げにならぬよう演目に注意しています。

○指導者

- ・後継者、指導者共に少ない。
- ・特に有りませんが、会員の仲間と検討予定。どちらかといえば、師匠の年齢が高くなっていて、指導者の増員に苦労している状況です。
- ・囃子練習の指導者も病気や死亡によりいなくなってしまう事が心配される。

○高齢化

- ・高齢化により衰退を待つのみです。
- ・指導者等の担ぎ手の不足（高齢化）。

○過疎化・少子化

- ・子どもの人数が減っていくこと。
- ・住民の高齢化、過疎化が一番の問題と思う。
- ・町内には空き地が増えており、人口減を痛感しています。人口が増えないと継承活動は先細りが懸念されると思っています。
- ・地区の過疎化が進み、急激な人口減となっています。その上、少子高齢化も大きな問題として抱えており、夏祭りの存続に危惧しております。
- ・少子高齢化により若い人が少なく更に子どもがいない。希望者だけの参加では人数不足な問題点もあります。よって楽しさを知ってもらい、区民総参加を目指し人数不足を補いたいです。

○引き手不足

- ・当日、山車を曳く大人が少ない。

- ・町内の子ども達だけでは山車の巡行が困難。
- ・山車の出場に際しては、金銭的な課題よりも人的な問題が多い。
- ・山車が出せない町内においては、担ぎ手不足が特に深刻で、お囃子を教えられる人材が年々減少している。
- ・3年に1回はトラックの荷台に作る屋台で、地区に9台の本屋台があり、何かの記念などに出します。その本屋台について
 1. 解体（収納するため）に多大な労力が必要
 2. 屋台の柱、天井、その他の損傷がある
 3. 修理してくれる所もわからない、費用もない
 4. 進んで役をしてくれる人がいない
 何か良い方法がありませんか？

○発表の場

- ・要望としては継承活動の活性化を図るため、発表の場、交流の場を提供して頂けたらと思う。
- ・これからも、発表する機会を多く、企画して頂けたらと思います。
- ・お祭りや催しの場で披露し、多くの方々に興味関心を持って頂き、子ども達の育成と地域活性化になればと思っています。
- ・発表の場であるいせさき祭りの演奏時間が少ない。本町通りから離れた場所でもいいので、ずっと演奏していただける場所があるとうれしい。（騒音とされてしまう等の心配も理解するが・・・）
- ・各種事業の開催で、各種団体が、その参加のため練習をして参加するので、練習等の機会が増え、貴重な練習の機会が増える事です。

○費用・補助助成

- ・継承活動つまりお祭りそのものへの参加者を増やすことだと思います。そのためには、やはりもう少し資金面を支えて頂けたら思います。
- ・山車の耐用年数があとどれくらいあるのか。それに伴い、年次予算を決めていきたい。
- ・（資金）楽しいイベントやコミュニケーションを充実していくため、会長や一部の有志から集めているが、今後はどのようなことも難しくなる。
- ・質問内容に映像記録保存と公開公演に関する項目が多く動態保存に対する考えに深く敬意を表します。一方伝統芸能の多くは地域祭礼と緊密な関係にあり、資機材や用具は特殊で高額かつ個人所有に帰属するものが少なくありません。

このため補助基準に合わず結果として老朽化し廃棄されてしまうなど残念な結果となっています。是非とも原点に戻って資機材や物品の維持管理経費への助成に力を入れていただきたいと思います。

○学校教育との連携

- ・その他、学校教育を主として、行政との連携を強めること。

○継承の工夫

- ・地元のお祭りで 200 年以上続く水神宮（灯籠流し）があります（8 月第 3 土日曜日）。今、水神宮祭を子ども達に分かりやすくするために、育成会が紙芝居を作成しました。また、「美茂呂チャキチン」というお囃子とロックを合わせた曲や動画も作成しました。

○周知 P R

- ・活動状況の映像を活用した拡散を図ることにより、P R に繋がれたらと思う。

○継承への思い

- ・年間の活動期間（2 週間）ですべてを伝える事は難しい。
- ・後継者を育成して祭文化を末永く保存していきたい。
- ・中之条町内の祭りにも関心を持ち見学等していきたい。
- ・年間を通して伝承活動をしてみたいと思うが、道具をずっと出して置ける場所がない。
- ・太鼓の練習は女性。太鼓を知らないと言が吹けない。先ず太鼓を覚えてほしい。
- ・母体が町会、祭典委員会などのために「伝統」にしばられ新しいことが出来ない。
- ・我々としては、地道な活動を継続して行くしかありません。
- ・残っている者の負担も高まっており、よかれと思って行った対策もかえって負担の増加につながってしまう可能性もあり、難しい状況になってきております。
- ・いかに大人に伝統文化の屋台、お囃子に興味を持ってもらい、お囃子の練習をしてみたいと思ってもらえるようにするか。まずはそこが第一の課題だと思います。
- ・子どもやその保護者にお囃子の魅力が伝わりにくい。地域で育った子どもが外へ出てしまっ

て戻らない。お囃子や伝統芸能に触れずに育った親に興味をもってもらうのが難しい。

- ・このままでは前橋祭り山車巡行は困難になるでしょう。屋台倉庫はしっかり設備がしてあるため安心ですが、何とか囃子を残していかなければと危機感を持っています。
- ・お囃子の継承に当たり、一番重要なのは篠笛の音です。篠笛のメロディーを楽譜におとし、誰でも音ができれば、吹けるようにしないと、継承は難しいと思います。
- ・若い人達の無関心さ。小学校入学時よりお祭りに向かって練習しますが、保護者の無関心さが気になります。練習は 7 月に入り 1 週間の内 3、4 日です。
- ・今後、人の減少や連帯の薄れなど、継承が危ぶまれる要素がある。引き続き行政区とも連携し、後継者となる若者が参加しやすい環境作りに努める必要がある。
- ・この状況は一保存会としては解決出来る事ではなく行政や地元の方はもとより、市外の方の協力なしでは存続出来ないと考えています。
- ・娯楽が豊富で趣味も多様化している昨今、郷土芸能の魅力、楽しさを伝える機会をより多く持ち（地域の祭りや独自のイベント、そして教育の場）自分も参加したい。応援したい。そしてお手伝い、協力したいという雰囲気づくりが大切だと思います。ごく一部の好きな人がやっているのではないと地域の皆さんに思ってもらいたいと感じています。
- ・伝統芸能活動の多くは社寺との因果が深い。特に地域の集会所はかつての神社社務所を使用しており、切っても切り離せない関係にあります。行政に支援を求めても文化財指定を受けてなければ状況を理解しても手をさしのべる事はありません。時代と共に地域に存在し続けた社寺と深い関係にある什宝の保護保存は政教分離の域を超えて議論すべき時に来ていると感じます。
- ・伊勢崎周辺では「さんてこ（参手鼓）」を中心としたお囃子が主流となっているが、この「さんてこ」は伊勢崎周辺が発祥の地といわれている。県内各地でも「さんてこ」が継承されており、群馬県としてこれを検証して頂き、お囃子継承の糧としたい。

○コロナ禍の影響

- ・コロナのため練習出来ない。
- ・とにかくこの新型コロナウイルスの感染が収束しないことにはまったく見通しが立ちません。
- ・コロナが収束し、町内の事業や活動が一日も早く正常に戻ることを願うばかりです。現状では動くことが出来ません。この間、子ども達が入れ替わり、これまで練習してきた子がいなくなってしまうこと。指導者自身の高齢化が進み、次の若い世代の人達への伝承が出来ない事が重要な課題です。

3 ぐんまの伝統芸能アンケート調査協力団体

1. 人形芝居

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
1	下長磯操翁式三番叟保存会	前橋市	下長磯町例大祭	下長稲荷神社	4月第3日曜日
2	込皆戸三番叟保存会	前橋市	秋季例祭	白山神社	10月
3	沼須人形芝居保存会あけぼの座	沼田市	春の大祭奉納公演 沼田市文化祭 利根沼田伝承古典芸能祭 文化遺産の祭典 伝統芸能発表会	砥石神社 薪水書窓庵 利根沼田文化会館 テラス1F テラス1F	4月3日 11月2日～5日の間 3月下旬 11月中旬 11月中旬
4	津久田人形操作伝承委員会桜座	渋川市	津久田人形公開練習会 赤城町文化祭展示発表 小中学校伝統芸能教室 小中学校伝統芸能教室 津久田人形芝居鑑賞会 古典の日制定記念人形芝居公演 *津久田人形芝居鑑賞会	赤城公民館 赤城公民館 渋川市立赤城北中学 渋川市立津久田小学校 津久田第一自治会集会所 安中市文化センター *金島ふれあいセンター	8月～9月(4回) R3.11.20・21(土日) R3.11.26(金) R3.12.17(金) R4. 1.15(土) R4. 1.29(土) *3月開催打診、休座中のため 出演辞退
5	八城人形浄瑠璃城若座	安中市	城若座定期公演 文化協会定期公演 西横野小学校5年生人形教室	八城住民センター 松井田文化センター 八城住民センター	10月15日 2月第1日曜日 2月中
6	尻高人形保存会錦松会	高山村	小学校伝統芸能教室 定期公演	高山小学校 西地区屋内ゲートボール場	10月頃 11月23日
7	唐堀人形芝居遊楽座	東吾妻町	町文化祭 いきいきサロン 地区敬老会 練習	町内	コロナ禍後は全て中止 毎月第3水曜日
8	下牧人形芝居保存会吉田座	みなかみ町	利根沼田伝承古典芸能祭 下牧区敬老会牧野神社春季例祭 小中学校伝統芸能教室	利根沼田文化会館 下牧公民館 各学校1年に2校	3月第3日曜日 4月15日 10月～11月

2. 歌舞伎

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
1	横室歌舞伎保存会	前橋市	公演	公民館	11月
2	平出歌舞伎保存会	沼田市	沼田市文化協会白沢支部芸能祭 利根沼田古典芸能祭 ぐんま伝統歌舞伎の祭典	市振興局3階ホール 利根沼田文化会館 県民会館	3月第2日曜日 3月第3日曜日 1月
3	赤城古典芸能保存会	渋川市	渋川市民文化祭(歌舞伎発表会) 歌舞伎公演	渋川市民会館又は赤城公民館 上三原田歌舞伎舞台	10月 秋
4	半田歌舞伎坂東座	渋川市	渋川市民文化祭(歌舞伎発表会) ぐんま伝統歌舞伎の祭典 歌舞伎公演	渋川市民会館又は赤城公民館 県民会館 上三原田歌舞伎舞台	10月 1月 秋
5	渋川歌舞伎	渋川市	ぐんま伝統歌舞伎の祭典 渋川市民文化祭(歌舞伎発表会) 歌舞伎公演	県民会館 渋川市民会館又は赤城公民館 上三原田歌舞伎舞台	1月 10月 秋
6	渋川子ども歌舞伎	渋川市	渋川市民文化祭(歌舞伎発表会) ぐんま伝統歌舞伎の祭典	渋川市民会館又は赤城公民館 県民会館	10月 1月

3. 獅子舞

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
1	諏訪神社立石獅子舞保存会	前橋市	秋季例大祭宵祭・本祭 総社秋元公歴史まつり 勝山小ふるさと祭り	立石諏訪神社 総社公民館 勝山小学校	10月第1土日曜日 11月第2日曜日 11月第3金曜日
2	元総社町上宿町獅子舞保存会	前橋市	春季例大祭 元総社公民館文化祭 上野国分寺祭り	総社神社 元総社公民館 国分寺史跡	3月15日 10月頃 平成30年10月28日

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
3	大前田諏訪神社獅子舞保存会	前橋市	秋の例大祭	大前田諏訪神社	10月第3日曜日
4	月田近戸神社獅子舞保存会	前橋市	例大祭	月田近戸神社	8月最終日曜日
5	高崎市並榎町獅子舞山車保存会	高崎市	並榎町春祭り 春季例大祭	並榎町神明宮 高崎神社	4月上旬
6	貝沢西組獅子舞保存会	高崎市	奉納獅子舞 東部まつり 東部商工会新春演舞	五霊神社 東部小学校校庭 カインズ入口	10月中旬日曜日 8月中旬お盆 1月3日
7	大八木町諏訪神社獅子舞保存会	高崎市	春の例大祭 秋の例大祭	大八木町諏訪神社 大八木町諏訪神社	3月第3土日曜日 10月第2土日曜日
8	阿久津町獅子舞保存会	高崎市	秋季例大祭奉納 高崎伝統民俗芸能まつり	山名八幡宮 高崎市文化会館	10月15日 11月
9	高崎市飯塚獅子舞保存会	高崎市	町内春祭 町内秋祭 高崎市行事、地元小学校 等	飯塚(弁財天、夫婦薬師堂、飯玉神社) 飯塚(飯玉神社) 文化会館、小学校 等	4月第2日曜日 10月19日 随時
10	石原町清水獅子舞保存会(若衆会)	高崎市	春の大祭奉納	小祝神社	4月19日
11	台新田獅子舞保存会	高崎市	秋季祭り	稲荷神社	10月
12	剣崎町獅子舞保存会	高崎市	秋の大祭奉納 八幡地区芸能祭 八幡小・屋外学習	八幡神社他 八幡・鼻高・西部小体育館 剣崎交流館	11月3日 10月中旬 11月下旬
13	諏訪神社川浦獅子舞保存会	高崎市	春祭り	諏訪神社	4月第3日曜日
14	東明屋諏訪神社獅子舞保存会	高崎市	春祭り 秋祭り	東明屋諏訪神社	4月上旬 10月上旬
15	生原北野神社獅子舞保存会	高崎市	みさとホテル祭り 箕輪城祭り 新嘗祭	蛭峰園 箕輪城跡 生原北野神社	6月末日曜日 10月末日曜日 11月23日
16	諏訪土俵獅子舞保存会	高崎市	秋季例大祭	金古諏訪神社	10月第1日曜日
17	上神蔵平獅子舞保存会	高崎市	榛名ふるさと祭り	榛名支所	10月第3日曜日
18	斉渡北野神社獅子舞保存会	高崎市	榛名ふるさと祭り	榛名支所	10月第3日曜日
19	宮谷戸獅子舞保存会	高崎市	榛名ふるさと祭り 村祭	高崎市榛名支所 宮谷戸諏訪神社	10月第3日曜日 11月第1日曜日
20	長根神社宿獅子舞・神楽舞保存会	高崎市	吉井町民俗芸能大会 少年部 夏休み練習発表会 秋季例大祭 吉井秋祭り(芸能発表) 吉井西小学校(郷土学習) 大人の部 各イベント毎の練習	吉井文化会館 吉井西コミュニティセンター 長根神社 公民館 吉井文化会館広場 西小学校 体育館 宿 公民館	4月29日 7月～8月 10月第3日曜日 11月最終日曜日 12月
21	奥平神社獅子舞保存会	高崎市	春祭り 秋祭り	奥平神社	4月上旬 10月中旬
22	多比良谷獅子舞保存会	高崎市	春祭り 吉井町芸能大会	阿分利神社公民館 吉井文化会館	3月末日曜日 4月29日
23	馬庭飯玉神社獅子舞保存会	高崎市	春の例大祭 夏祭り 秋の例大祭 獅子舞大会	飯玉神社 飯玉神社 飯玉神社および村内各所 榛名文化会館エコール	4月第1日曜日 7月第4土日曜日 10月第2土日曜日 秋
24	下滝町獅子舞保存会	高崎市	町内敬老会芸能祭 秋の例大祭 滝川ふれあいフェスティバル	下滝町公民館 赤城神社 滝川小学校	3月第2日曜日 10月第2日曜日 11月中旬
25	下寺尾獅子舞保存会	高崎市	(中断中)		
26	上中居獅子舞保存会	高崎市	春季大祭 秋季大祭	諏訪神社	3月 10月

N0	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
27	保渡田榛名神社獅子舞保存会	高崎市	春祭り	保渡田榛名神社	4月第2日曜日
28	千本木龍頭神舞保存会	伊勢崎市	秋祭り 茂呂小学校体験学習 伊勢崎郷土芸能大会	千本木神社 茂呂小学校 境文化センター 等	10月第3土日曜日 5月中 11月
29	東新井獅子舞保存会	伊勢崎市	東新井ふるさと祭り	東新井地区内各所	11月第3日曜日
30	新井八幡宮獅子舞保存会	太田市	大祭 勤労感謝祭	新井八幡宮	9月15日に近い土日曜日 11月23日
31	細谷冠稲荷獅子舞保存会	太田市	初午大祭獅子舞奉納	冠稲荷神社	3月第3又は第4日曜日
32	堀口獅子舞保存会	太田市	秋季大祭	賀茂神社	11月第3土曜日
33	新田赤堀獅子舞保存会	太田市	秋季大祭	赤堀八幡宮	10月第3日曜日
34	生枝獅子舞保存会	沼田市	白沢町芸能祭	白沢公民館	2月第3日曜日
35	上三林ささら保存会	館林市	秋季大祭 三野谷公民館まつり 郷土芸能発表会	雷電神社 三野谷公民館 館林市三の丸藝術ホール	十五夜に近い日曜日 11月第4日曜日 2月第2日曜日
36	館林木戸町獅子舞保存会	館林市	夏祭り	深諦寺 赤城神社	7月最終日曜日
37	行幸田甲波宿禰神社獅子舞保存会	渋川市	春季例大祭 *奉納練習(約2週間) *秋季練習(2～4週間)	行幸田甲波宿禰神社 中筋集会所 中筋集会所	4月17日に近い日曜日 4月上旬 11～12月
38	箱田獅子舞保存会	渋川市	春祭典	木曾三柱神社	4月第2日曜日
39	下大塚獅子舞保存会	藤岡市	秋祭り 獅子舞練習	中大塚平地神社 平大塚集会所	10月第3日曜日 毎月第3土曜日
40	保美獅子舞保存会	藤岡市	(中断中)		
41	寺山獅子舞保存会	藤岡市	秋祭	本郷土師神社	10月19日に近い日曜日
42	神田獅子舞保存会	藤岡市	春祭り	美九里浅間神社	4月第1日曜日
43	坂原菅原神社獅子舞保存会	藤岡市	奉納	坂原菅原神社	1月25日に近い日曜日
44	星田獅子舞保存会	富岡市	例大祭	八幡神社	10月第3日曜日
45	中高瀬獅子舞保存会	富岡市	春季例大祭 老人ホーム慰問 地元敬老会	高瀬神社 庚甲山 天の間 鎭泉苑 高瀬小体育館	4月第1日曜日 祭りのない年 9月
46	内匠獅子舞保存会	富岡市	例大祭 富岡祭り 地区の祭り 芸能祭発表会	高瀬神社 市中心市街 市内匠地区 市公民館	4月第1日曜日 10月第2日曜日 春か秋 秋
47	相野田獅子舞保存会	富岡市	小野地区納涼祭 小野地区文化祭 富岡どんとまつり 富岡伝統芸能祭り 例祭	小野小学校 小野公民館 富岡小学校 かぶら文化ホール 得成寺	8月第1日曜日 3月第1土曜日 10月第3土曜日 秋 4月8日
48	下高尾獅子舞保存会	富岡市	秋祭り 小野地区文化祭 富岡市どんとまつり	下高尾地区の神社4カ所 小野公民館 富岡まつり広場	10月 3月 10月
49	横瀬獅子舞保存会	富岡市	秋祭り 祭り	高瀬会館 老人ホーム 天の間園	10月第2日曜日 秋
50	中里獅子舞保存会	富岡市	妙義山紅葉フェスティバル 妙義地区文化祭 春祭り	妙義神社 妙義中央公民館 中里諏訪神社	11月3日 3月第1日曜日 4月第2日曜日

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
51	上丹生下組獅子舞保存会	富岡市	秋祭り ほたる祭り どんと祭り	八幡神社 丹生湖管理棟 富岡小学校庭	10月第3日曜日 6月中旬 10月
52	嶺獅子保存会	安中市	原市のお祭り	原市榎木神社	8月第1日曜日
53	野殿獅子舞保存会	安中市	地区秋祭り	野殿地区白山神社奉納 その他村内5カ所奉納	10月14日、15日
54	上磯部獅子舞保存会	安中市	秋祭り 披露(宿泊者の方) 披露(入浴者の方)	赤城神社 ホテル磯部ガーデン 恵の湯	10月第3日曜日 10月第3土曜日 10月第3土曜日
55	行田獅子保存会	安中市	行田地区例祭	気佐石神社	10月第2日曜日
56	土塩上組獅子舞保存会	安中市	秋祭り	神明宮	10月15日
57	土塩中組獅子舞保存会	安中市	秋祭り	諏訪神社	10月15日に近い日曜日
58	上増田獅子舞保存会	安中市	碓井関所大祭参加 秋祭り	碓井関所跡 八坂神社・熊野神社・諏訪神社	5月13日 秋
59	下八幡宮獅子舞保存会	吉岡町	春季祭典 吉岡町伝統芸能発表会	吉岡町下八幡神社 吉岡町文化センター	4月第1日曜日 11月3日
60	溝祭獅子舞保存会	吉岡町	春季例大祭奉納 溝祭自治会夏祭り 吉岡町文化祭 伝統芸能発表会	三宮神社 三宮神社 吉岡町文化ホール	4月第1日曜日 8月 11月
61	吉岡町大藪獅子舞保存会	吉岡町	春祭り 吉岡町文化祭 獅子舞三団体交流会	上八幡神社 吉岡町文化センター —	4月第1日曜日 11月上旬 1月中
62	白山獅子舞保存会	下仁田町	白山地区秋祭り	地区公会堂(又は白山神社)	10月16日以前の土曜日 予定
63	下小坂芸能保存会	下仁田町	下小坂秋祭り	2区公会堂	10月第2日曜日
64	天引獅子神楽舞保存会	甘楽町	秋季大祭 甘楽町産業文化祭	天引諏訪神社 甘楽郡陸上競技場	10月第3日曜日 11月3日
65	那須獅子舞保存会	甘楽町	秋祭 甘楽町文化祭	稲倉神社 町文化会館	10月第1日曜日 11月3日
66	大岩獅子舞保存会	中之条町	秋季大祭	大岩諏訪神社公民館	彼岸すぎの9月27日に近い 日曜日
67	下沢渡獅子連	中之条町	秋季祭	下沢渡諏訪	9月第2日曜日
68	吾妻郡柴宮神社芸能保存会	中之条町	例大祭 町伝統芸能発表会 町文化祭	柴宮神社 つむじ広場 つむじ広場	3月第3日曜日 春(6・7月)、秋(10・11月) 11月3日
69	大道獅子舞保存会	中之条町	奉納	大道八坂神社	5月3日
70	岩本芸能保存会	中之条町	秋季大祭	岩本諏訪神社	9月27日に近い日曜日 (彼岸を除く)
71	蟻川芸能保存会	中之条町	蟻川秋祭 町文化祭	熊野神社 つむじ	9月第1日曜日 年により異なる
72	駒岩獅子舞保存会	中之条町	春季例大祭	稲裏神社	5月3日
73	長野原文化会	長野原町	春季大祭 納涼祭 長野原地区納涼盆踊り大会	諏訪神社・長野原地区巡回 特別養護老人ホームからまつ荘 諏訪神社	4月25日 毎年設定 8月15日

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
74	羽場日枝神社獅子舞保存会	みなかみ町	春季例大祭	羽場日枝神社	5月3日
75	飯野本村獅子舞保存会	板倉町	奉納	飯野地区	7月15日近い土日曜日
76	役原獅子舞	高山村	奉納	役原諏訪神社	8月中旬～下旬 8月27日に近い(土日)
77	大宮神社獅子舞保存会	榛東村	秋、春	大宮神社	4月、10月
78	南新井獅子舞保存会	榛東村	ホタル祭り 9区火祭り 秋例大祭	八幡神社 浅間様 八幡神社	6月 9月1日 10月第3日曜日
79	鎌原獅子舞保存会	嬭恋村	春祭典 秋祭典	鎌原神社	4月 10月
80	萩室獅子舞保存会	川場村	世田谷区郷土芸能大会 川場村芸能祭 地区の祭り	世田谷区成城ホール 川場村文化会館 諏訪神社	3月第1日曜日 2月第1土曜日 10月上旬

4. 神楽

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
1	産泰神社太々神楽保存会	前橋市	例祭 例祭 例祭	荒子神社 近戸神社 産泰神社	3月29日 4月3日 4月18日
2	二之宮町無形文化財保存会	前橋市	祭り	二宮赤城神社	1月1日 4月15日
3	植野稲荷神社太々神楽保存会	前橋市	春季例大祭	植野稲荷神社	4月第1日曜日
4	総社神社太々神楽保存会	前橋市	春季例祭 元総社地区文化祭 国分寺まつり	総社神社 元総社公民館 国分寺史跡	3月15日 10月末(日曜日) 10月末(日曜日)
5	上新田町雷電神社太々神楽保存会	前橋市	例大祭 火例祭 春季例祭	上新田町 雷電神社 玉村町 火雷神社 玉村町 玉村八幡宮	4月8日に近い日曜日 4月3日 4月15日
6	足軽町太々神楽保存会	前橋市	春例大祭 大胡祇園祭 足軽町納涼祭	大胡神社 JA前橋大胡支所仮設舞台 足軽町自治会館仮設舞台	5月3日 7月最終土曜日 8月第3土曜日
7	三夜沢赤城神社太々神楽保存会	前橋市	例大祭奉納 元旦奉納	赤城神社	5月5日 1月1日
8	八幡八幡宮太々神楽保存会	高崎市	新年大祭 春の大祭 秋の大祭 夜神楽	八幡宮神楽殿	1月2日 4月第1日曜日 11月3日 12月31日
9	烏子稲荷神社太々神楽保存会	高崎市	春祭り 夜神楽	烏子諏訪神社	4月第2日曜日 12月31日、1月1日
10	八幡原太々神楽保存会	高崎市	例祭(春・秋) 高崎市神楽の集い 高崎市伝統芸能祭 滝川地区芸能祭	若宮八幡宮 榛名文化ホールエコール 市文化会館 滝川小体育館	4月第1日曜日 10月第1日曜日 11月第1か第2日曜日 11月第1か第2日曜日
11	金古諏訪神社神楽保存会	高崎市	歳旦祭 祈念祭 八十八夜祭 神楽の集い	金古諏訪神社 金古諏訪神社 金古町桃山稲荷神社 榛名文化センターエコール	1月1日 3月第4日曜日 5月3日 9月又は10月
12	榛名神社神代神楽保存会	高崎市	お神楽始式 端午祭神楽 神幸祭神楽	榛名神社	2月15日 5月5日 5月8日
13	賀茂神社太々神楽保存会	桐生市	春の例祭 秋の例祭	賀茂神社	4月14日、15日 10月15日に近い日曜日
14	白瀧神社太々神楽保存会	桐生市	例大祭 川内文化祭 桐生えびす講	白瀧神社 川内体育館 桐生西宮神社	8月第1土曜日 11月下旬 11月19日
15	小金井太々神楽保存会	太田市	春祭り 秋祭り 春祭り	松尾神社 松尾神社 菅原神社	4月第3日曜日 10月第3日曜日 丑年第4日曜日

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
16	薄根太々神楽硯田保存会	沼田市	幼稚園公演 小学生(3年生)公演 古典芸能祭 公民館祭 春祭り奉納 春祭り奉納	薄根幼稚園 薄根小学校 沼田市文化会館 薄根公民館 硯田菅原神社 榛名神社	10月末 2月中 3月第3日曜日 2月中 3月最終日曜日 4月8日
17	薄根太々神楽保存会	沼田市	春礼祭 古典芸能発表会 薄根公民館まつり	河内神社 利根沼田文化会館 薄根コミュニティーセンター	4月29日 2月中 2月中
18	神明宮太々神楽保存会	渋川市	春季例大祭 春季例大祭	神明宮 子持神社	4月第2日曜日 5月1日
19	村上太々神楽保存会	渋川市	秋の祭典 市民文化祭 温泉まつり	渋川市村上佐間神社 公民館 温泉センター	11月23日 11月 4月
20	勝保沢太々神楽保存会	渋川市	神社祭典舞奉納	村社諏訪神社	4月29日
21	諏訪神社太々神楽会	藤岡市	春季例大祭 元旦神楽奉納 越年神楽奉納	藤岡諏訪神社	4月8日 1月1日 12月31日
22	富士浅間神社太々神楽保存会	藤岡市	春の祭典	浅間神社	4月1日
23	下栗須稲荷神社太々神楽保存会	藤岡市	春祭り	稲荷神社	3月27日
24	本郷下郷太々神楽保存会	藤岡市	春祭り 藤岡市芸能鑑賞会	土師神社 みかぼみらい館	3月19日直近の日曜日 5月連休最終日
25	鹿島神社太々御神楽	藤岡市	春季大祭	鹿島神社	4月15日に近い日曜日
26	鬼石神社太々神楽保存会	藤岡市	春例大祭	鬼石神社	4月第1日曜日
27	御倉御子神社太々神楽保存会	藤岡市	秋季例大祭	御倉御子神社	10月第1日曜日
28	丹生神社神楽舞子連	藤岡市	春祭り	丹生神社	4月9日に近い日曜日
29	一之宮貫前神社神楽保存会	富岡市	年越祭 歳旦祭 例大祭	一之宮貫前神社	12月31日 1月1日 3月15日
30	黒川御神楽	富岡市	御神楽の悪魔祓い	各家庭を訪問	1月第1、又は第2日曜日
31	菅原神社太々神楽保存会	富岡市	春例大祭 もみじ祭り	菅原神社 妙義神社	3月25日に近い日曜日 秋
32	黒川26神楽保存会	富岡市	黒川村祭り 敬老祭り	黒川ふれあい公園 上黒川集落センター	10月 9月
33	鷲宮太々神楽保存会	安中市	例大祭	咲前神社神楽殿	4月1日
34	土塩太神楽保存会	安中市	秋祭り 関所祭り	神明宮 碓氷関所	10月下旬 5月中旬
35	横町太々神楽保存会	みどり市	春祭り 秋祭り 笠懸地域文化協会郷土芸能祭	秋葉神社 秋葉神社 笠懸公民館	4月第1土日曜日 10月第3土日曜日 6月第4日曜日
36	新井八幡宮太々神楽講	榛東村	太々神楽	八幡神社	4月第1日曜日
37	乃久里神楽保存会	上野村	祭典 祭典	乃久里神社 新羽神社	8月1日に近い土か日曜日 10月1日に近い土か日曜日
38	金光山白倉神社太々神楽保存会	甘楽町	春季例大祭 秋祭り	金光山 白倉神社 金光山 白倉神社	4月第3日曜日 10月第3日曜日
39	大山神楽保存会	甘楽町	御祭り	白倉神社	4月第3日曜日
40	天引獅子舞神楽舞保存会	甘楽町	秋季例大祭	天引諏訪神社	10月第3日曜日
41	高津太々神楽保存会	中之条町	春季例大祭 大祭 秋季例大祭	吾妻神社 石喰稲荷 吾妻神社	4月1日 4月第2日曜日 9月第3日曜日

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
42	下折田太々神楽保存会	中之条町	秋季例大祭 中之条町郷土芸能発表会	報徳折田神社 ふるさと交流センターつむじ	9月27日に近い日曜日 11月
43	山田芸能保存会	中之条町	春祭り 秋祭り	吾嬬神社	4月第2日曜日 9月敬老の日
44	伊勢町郷土芸能保存会	中之条町	春季例大祭 大祓式・除夜式、二年詣祭 中之条町郷土芸能発表会 伝統芸能披露	伊勢宮 伊勢宮 ふるさと交流センターつむじ ふるさと交流センターつむじ	4月3日 12月31日～1日 10月初旬 5月～11月
45	中之条伊勢宮芸能保存会	中之条町	秋の例大祭 鳥追祭(雅楽奉納) 祇園祭(雅楽奉納) 春分祭(雅楽奉納)	中之条伊勢宮	9月敬老の日 1月14日 8月第1土日曜日 春分の日
46	川原湯神社太々神楽連中	長野原町	奉納神楽	川原湯神社	4月8日
47	王城山神社氏子会	長野原町	春祭神楽奉納	王城山神社	5月5日
48	三島神社太々神楽保存会	高山村	春大祭 秋大祭 春大祭 秋大祭	三島神社 三島神社 中山神社 中山神社	4月15日 敬老の日 4月1日 9月1日
49	尻高神社太々神楽保存会	高山村	奉納神楽	尻高神社神楽殿	4月第2日曜日
50	川戸神社太々神楽保存会	東吾妻町	春の礼祭 秋の礼祭 東吾妻文化祭	川戸神社 川戸神社 東我妻町コンベンションホール	4月29日 10月9日 毎年月日は変わります
51	矢倉鳥頭神社太々神楽保存会	東吾妻町	春季大祭 秋季大祭	矢倉鳥頭神社	4月第3土曜日 11月3日
52	菅原神社太々神楽保存会	東吾妻町	五社祭り 祭り 祭り	菅原神社	5月3日 11月25日 2月25日
53	熊野講社太々神楽保存会	東吾妻町	奉納神楽	熊野協会(神道修成派)	5月5日
54	鳥頭神社太々神楽保存会	東吾妻町	春季例大祭 秋季例大祭	三島鳥頭神社	4月29日 11月3日
55	吉岡神社神楽会	東吾妻町	春季大祭 秋季大祭	吉岡神社	4月8日に近い週末 11月8日に近い週末
56	永井太々神楽保存会	昭和村	昭和村芸能祭 祭典	昭和村公民館 永井箱根神社	3月第1土曜日 4月第3日曜日
57	月夜野神社御神楽保存会	みなかみ町	春大祭 秋大祭 風祭 祇園祭	月夜野神社	4月第2日曜日 10月第2日曜日 8月第4日曜日 7月第4日曜日
58	小川神社太々神楽保存会	みなかみ町	春季例大祭	小川神社	4月第3日曜日
59	猿ヶ京神道修成派太々神楽	みなかみ町	春祭 秋祭 春祭 夜神楽	神明神社 神明神社 相俣神社 神明神社	4月16日 10月14日 4月23日 12月31日～1日
60	布施稲荷神社大々神楽保存会	みなかみ町	大祭	布施稲荷神社	4月第3日曜日
61	谷川富士浅間神社太々神楽保存会	みなかみ町	祭り	富工浅間神社	4月29日
62	板倉里神楽保存会	板倉町	正月祭り 夏越例大祭 春の例大祭 こども伝統芸能 その他	板倉町高鳥天満宮 板倉町高鳥天満宮 明和町三嶋神社 板倉町内小学校(5年生対象) 神社、社会福祉施設 等	正月、1月2日 7月第3土曜日 3月第4日曜日 不定期 不定期
63	高鳥天満宮太々の会	板倉町	元旦祭 例大祭	高鳥天満宮神楽殿	1月元旦 2月第4日曜日
64	邑楽町里神楽獅子舞保存会	邑楽町	例大祭 恵比寿講 例大祭	長柄神社 出雲神社 初日神社	4月か9月日曜日 11月19～20日 4月、9月第4日曜日

5. 祭り囃子

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
1	東片貝町祇園囃子保存会	前橋市	納涼祭	東片貝町公民館	8月第1土曜日
2	青柳町郷土芸能保存会	前橋市	春の例大祭 祇園祭	神明宮 町内一円	4月25日前後の日曜日 8月第1土曜日
3	六供町おはやし保存会	前橋市	六供町納涼祭 六供町敬老芸能発表会 六供町文化祭	六供八幡宮 六供町コミュニティクラブ 六供町公民館	8月第1土曜日 9月敬老の日 11月文化の日
4	住吉町一丁目おはやし保存会	前橋市	住吉まつり	住吉町1丁目町内、市中央部	10月
5	愛宕神社祇園囃子保存会	前橋市	前橋祭り参加	愛宕神社	10月第2日曜日
6	大友町祭囃子保存会	前橋市	大友児童館夏祭り 老年病院陽光苑夏祭り 大友町夏祭り	大友児童館 老年病院 大友町公民館	7月第2土曜日 7月第4金曜日 8月第1日曜日
7	高崎山車祭り保存会	高崎市	高崎山車まつり	高崎中心市街地	9月第1土曜日
8	桐生本四祇園囃子保存会	桐生市	桐生祇園祭	本町四丁目	8月第1金土日曜日
9	茂呂町一丁目屋台囃子保存会	伊勢崎市	茂呂地区納涼祭 いせさきまつり 秋祭り	茂呂小学校 伊勢崎市本町通り 飯福神社	7月第3土曜日 8月第2土曜日 9月第1土曜日
10	茂呂町二丁目屋台囃子保存会	伊勢崎市	茂呂地区納涼祭 いせさきまつり 水神宮祭 秋祭り	茂呂小学校校庭 伊勢崎本町通り 美茂呂水神宮 飯福神社	7月第4土曜日 8月第2土曜日 9月第2土曜日 8月第3土曜日
11	美茂呂町屋台囃子保存会	伊勢崎市	茂呂地区納涼祭 世良田祇園祭 美茂呂町水神宮祭	茂呂小学校校庭 太田市世良田町八坂神社 水神宮前	7月第3土曜日 7月第4土日曜日 8月第3土日曜日
12	南北千木町屋台囃子保存会	伊勢崎市	伊勢崎・花まつり 茂呂地区納涼祭 いせさきまつり 秋祭り 伊勢崎市郷土芸能大会	華蔵寺公園 茂呂小学校 伊勢崎市本町通り 千本木神社・町内 伊勢崎市文化会館	4月第1日曜日 7月第4土曜日 8月第2土日曜日 10月第3土曜日 11月下旬
13	茂呂南町屋台囃子保存会	伊勢崎市	茂呂地区納涼祭 いせさきまつり 神社祭り	小学校 道路 神社	7月第4土日曜日 8月第2土曜日 9月第2土曜日
14	馬見塚三ツ橋町屋台囃子保存会	伊勢崎市	豊受夏まつり いせさきまつり	飯玉神社・伊勢崎南部公園 本町通り	令和4年7月23日 令和4年9月24日
15	栄町屋台と祭囃子保存会 (栄町祭囃子保存会)	伊勢崎市	境ふるさと祭り 世良田祇園・例大祭獅 さかい郷土芸能ふれあい発表会 境産業祭	町内 八坂神社(太田市世良田町) 境総合文化センター 境総合文化センターグランド	7月末又は8月最初の土日 7月下旬土曜日 9月上旬 11月
16	女塚祭礼囃子保存会	伊勢崎市	春の例大祭 世良田祇園祭 さかいふるさと祭り さかい郷土芸能ふれあい発表会 伊勢崎市郷土芸能大会	女塚稲荷神社 八坂神社 町内 境総合文化センター 伊勢崎市文化会館	4月第1日曜日 7月第3又は第4土日曜日 8月第1土日曜日 9月第1日曜日 2～3月
17	東町囃子保存会	伊勢崎市	さかいふるさと祭り くわのみ祭り さかい郷土芸能ふれあい発表会 みんなにんげんつながりフェスティバル 酉の市	境東地区、群銀行交差点 等 くわのみ(伊勢崎市境女塚) 境総合文化センター 境総合文化センター 瑳珂比神社	8月上旬土日曜日 6月上旬土曜日 9月上旬日曜日 11月第2日曜日 12月10日
18	宿波志江組屋台囃子保存会	伊勢崎市	いせさきまつり 波志江祇園祭	伊勢崎市本町通り 伊勢崎市愛宕神社	8月第2土曜日 10月17日に近い土日曜日
19	稲間組屋台・屋台囃子保存会	伊勢崎市	いせさき花まつり いせさきまつり 芸能発表会 波志江祇園まつり 町内の住民交流まつり	華蔵寺公園野外広場 伊勢崎本町通り 伊勢崎市文化会館 波志江愛宕神社 波志江稲岡住民センター	4月上旬 8月上旬 10月頃 10月 10月
20	波志江・中野面組屋台囃子保存会	伊勢崎市	中野面まつり	公民館	10月

NO	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
21	下波志江組屋台・囃子保存会	伊勢崎市	波志江祇園祭り いせさきまつり 三郷地区納涼祭	愛宕神社 伊勢崎本町通り 三郷小学校	10月 9月 8月
22	波志江・大鍋組屋台囃子保存会	伊勢崎市	三郷地区納涼祭	小学校校庭	8月下旬日曜日
23	大原祭囃子保存会	太田市	藪塚祭り 地区祭り 文化祭	町内	9月 7月下旬 11月
24	下新田囃子保存会	太田市	世良田祇園祭り	世良田八坂神社	7月24日前後の土日曜日
25	新町区囃子保存会	太田市	世良田祇園祭り	八坂神社・お祭り広場 他	7月第4土日曜日
26	沼田祇園囃子保存会連合会	沼田市	沼田まつり祇園末祭 沼田祇園囃子こども教室 沼田市文化遺産の祭典	沼田市街地 沼田市内小学校 沼田市内	8月3日・4日・5日 6月～7月 11月第2土曜日
27	本町一丁目自治会	館林市	夏まつり	琴平神社・本一会館・本町通り	7月第3土日曜日
28	緑町一丁目区	館林市	区夏祭り	区内巡回	6月第2土曜日
29	渋川梅笛祇園囃子保存会	渋川市	白井花まつり 行幸田まつり 渋川市桜まつり 前橋まつり 渋川市民総合文化祭	白井宿通り 行幸田地区 南原そば畑 総合公園 立川町大通り 子持社会体育館	4月頃 4月頃 4月頃 10月12、13日 11月11日
30	鬼石祭囃子保存会	藤岡市	鬼石夏祭り 藤岡市郷土芸能鑑賞会 鬼石小学校運動会	旧鬼石町内 みかぼみらい館 鬼石小グラウンド	7月14・15日に近い土日 5月第1日曜日 9月下旬土曜日
31	中宿祭典委員会囃子の部	安中市	祭典	町内	10月
32	安中市原市第3甲区	安中市	原市鳥追祭	区住民センター	1月第2日曜日
33	安中市原市第2区	安中市	鳥追祭	絹笠神社	1月第2日曜日
34	大間々おはやし保存会連絡協議会 第三区お囃子保存会	みどり市	お囃子伝承教室 大間々祇園祭り	町内	7月中旬～7月末 8月1日～3日
35	大間々おはやし保存会連絡協議会 第四区おはやし保存会	みどり市	大間々祇園祭り	神明宮(八坂神社)	8月1～3日
36	大間々おはやし保存会連絡協議会 第五街祇園囃子保存会	みどり市	大間々祇園祭り 大間々文化協会文化祭	大間々本通り ながめ余興場	8月1日～3日 10月
37	大間々おはやし保存会連絡協議会 第六区おはやし保存会	みどり市	大間々祇園祭り	町内	8月1日～3日
38	大間々おはやし保存会連絡協議会 第七区保存会	みどり市	大間々祇園祭り	大間々町全町	8月1日～3日
39	吉岡町大久保屋台囃子保存会	吉岡町	春季例大祭奉納 吉岡町ふるさと祭り 伝統芸能祭り 自治会夏祭り 自治会福祉ネットワーク	三宮神社 役場 文化センター 各センター センター	4月第1日曜日 10月頃 11月 8月 10月
40	仲町祭典委員会	下仁田町	秋季例大祭	諏訪神社	10月第2土日曜日
41	下町祭典委員会	下仁田町	秋季例大祭(下仁田秋祭り) 社例大祭	諏訪神社他 旧町内一円 山際稲荷神社 旧町内一円	10月第2土日曜日 春分の日前後土日曜日
42	東町祭典委員会	下仁田町	秋季例大祭	諏訪神社	10月最初の3連休 (土日曜日)
43	旭町祭典委員会	下仁田町	伝統文化披露公演 秋季例大祭	町内施設 諏訪神社中心に町内	10月第2土日曜日
44	川井祭典委員会	下仁田町	諏訪神社秋季例大祭	諏訪神社	10月第2土日曜日

N0	伝承団体	市町村	祭り・行事	場 所	期 日
45	磐戸秋祭り実行委員会	南牧村	磐戸秋祭り	磐戸神社	9月第1土曜日
46	伊勢町下之町若連	中之条町	伊勢町祇園祭	伊勢宮・伊勢町地内街路	9月第1日曜日
47	中之条地区第6区(宮元町)	中之条町	鳥追い祭り 祇園祭	中之条伊勢宮	1月14日 8月第1土日曜日
48	中之条地区第5区(田町)	中之条町	中之条祇園祭 鳥追い祭り	中之条町	8月第1日曜日 1月14日
49	中之条地区第8区(仲之町)	中之条町	中之条祇園祭 どんどん焼き 鳥追い祭り	中之条伊勢宮 八区内田んぼ 中之条伊勢宮	8月第1土日曜日 1月14日 1月13日、14日
50	中之条地区第10区(堅町)	中之条町	鳥追い祭り 祇園祭	中之条町	1月13日、14日 8月第1週土日曜日
51	中之条地区第11区(王子町)	中之条町	鳥追い祭り	伊勢宮神社	1月14日
52	月夜野町組祇園囃子保存会	みなかみ町	みなかみ町月夜野祇園祭	みなかみ町ホンダカーズ 月夜野駐車場	7月最終土日曜日
53	六丁目祇園祭保存会	玉村町	玉村町ふるさと祭	玉村町 上、下新田	7月第4土日曜日
54	角淵祇園祭保存会	玉村町	角淵祇園祭	角淵八幡宮周辺	7月第2土日曜日
55	中谷おはやし保存会	明和町	中谷まつり 明和まつり 明和町文化祭 新春アゼリアモール祭	長良神社 明和町ふるさと広場 明和町キャンパックホール 館林アゼリアモール	7月第1土曜日 8月第1日曜日 11月第1日曜日 1月

※開催期日は変更、中止になる場合があります。

※誤認や誤記があればお詫びし、今後補完して参ります。

令和３年度伝統文化継承事業
ぐんまの伝統芸能アンケート調査報告書

令和４年３月発行

編集・発行／公益財団法人群馬県教育文化事業団
〒371-0801 群馬県前橋市文京町 2-20-22
電話 027-224-3960 FAX 027-221-4082
<https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp>